

# 令和元年度第3回第9地区教科用図書採択教育委員会協議会議事録

### 1. 期 日

令和元年8月8日（木曜日）

### 2. 場 所

北見市端野総合支所 2階 3・4会議室

### 3. 出席委員

大空町教育委員会	教 育 長	渡 邊 國 夫
美幌町教育委員会	教 育 長	矢 萩 浩
津別町教育委員会	教 育 長	宮 管 玲
斜里町教育委員会	教 育 長	岡 田 秀 明
清里町教育委員会	教 育 長	岸 本 幸 雄
小清水町教育委員会	教 育 長	加 藤 友 幸
訓子府町教育委員会	教 育 長	林 秀 貴
置戸町教育委員会	教 育 長	平 野 毅
佐呂間町教育委員会	教 育 長	仲 川 倫 則
遠軽町教育委員会	教 育 長	河 原 英 男
湧別町教育委員会	教 育 長	阿 部 勉
滝上町教育委員会	教 育 長	奥 田 直 美
興部町教育委員会	教 育 長	畑 山 研 二
西興部村教育委員会	教 育 長	飯 束 亨
雄武町教育委員会	教 育 長	豊 田 通 敏
北見市教育委員会	教 育 長	志 賀 亮 司
網走市教育委員会	教 育 長	三 島 正 昭
紋別市教育委員会	教 育 長	齋 藤 房 生

### 4. オホーツク教育局

オホーツク教育局教育支援課長	遠 藤 直 俊
オホーツク教育局教育支援課義務教育指導班主任指導主事	田 中 陽 一

### 5. 事務局員

北見市教育委員会学校教育部次長	皆 川 毅
北見市教育委員会学校教育部学校教育課長	宮 川 真 一
北見市教育委員会学校教育部指導室主幹	尾 島 康 人
北見市教育委員会学校教育部学校教育課学校教育係長	横 山 悠 太

## 6. 会議に付した議題

- (1) 協議会委員の変更について
- (2) 令和2年度から使用する第9地区教科用図書採択にかかわる情報公開の取り扱いについて
- (3) 令和2年度から使用する第9地区教科用図書採択について
  - ① 中学校教科用図書（道徳以外）の採択決定協議
  - ② 小学校教科用図書及び小・中学校特別支援学級教科用図書（一般図書）に係る小委員会からの報告並びに採択決定協議

## 7. 議 事

午前 10 時 00 分 開会

### (1) 協議会委員の変更について

志賀会長より、議案 2 ページにより説明

全員異議無く、説明どおり了承

### (2) 令和 2 年度から使用する第 9 地区教科用図書の採択にかかわる情報公開の取り扱いについて

皆川事務局長より、議案 3 ページにより説明

①請求期間について、令和元年 9 月 1 日から開示すること

②取扱要領の施行日を、令和元年 8 月 8 日からとすること

③協議会終了後、各市町村教育委員会で教科書を採択した後に、採択結果や理由、協議会の議事録及び調査研究資料などをホームページに掲載するなど、積極的に情報公開を行うこと

全員異議無く、説明どおり了承

### (3) 令和 2 年度から使用する第 9 地区教科用図書の採択について

#### ①中学校教科用図書（道徳以外）の採択決定協議

皆川事務局長より、中学校教科用図書の採択に係る進行手順等に関して次の 3 点を説明

ア. 採択の区分について

中学校教科用図書のうち「特別の教科 道徳」以外の教科書全 15 種目について 1 社ずつ採択すること

イ. 採択の方法について

i) 今回の採択においては、平成 30 年度検定において新たな図書の申請がなかったため、前回の平成 26 年度検定合格図書の中から採択を行うこと

ii) 第 1 回協議会において、「現在使用されている中学校用教科書の 4 年間の実績や、平成 27 年度採択における調査研究を尊重し、これらを活用することとしたうえで採択行為を行うこととし、今回は中学校用教科書の調査委員会を設置しない」ことで承認をいただいたので、改めて調査研究を行わないこと

ウ. 採択教科書の使用年度について

今回採択する中学校教科用図書については、来年度に教科書を調査研究し、改めて採択することが予定されており、使用するのは令和 2 年度のみとなること

#### ◆意見等

Q / 中学校の教科書については、平成 27 年度の採択時から教科書に変更がないことや、4 年間の使用実績から、特に支障が生じていることもなく、全教科とも引き続き同じ教科書を採択すべきと考える。

A / 道徳以外の中学校教科用図書については、前回採択時と同様の会社を採択するということがよいか。

(異議なし)

それでは、道徳以外の中学校教科用図書については、議案 6 ページ右側に掲載の、これまで使用してきた教科書を採択する。

## ②小学校教科用図書及び小・中学校特別支援学級教科用図書（一般図書）に係る小委員会からの報告並びに採択決定協議

皆川事務局長より、小学校教科用図書及び小・中学校特別支援学級教科用図書（一般図書）の採択に係る進行手順等に関して、次の 3 点を説明

ア. 採択の区分について

- i) 国語の科目については、国語と書写について別々に採択すること
- ii) 社会の科目については、社会と地図について別々に採択すること
- iii) 特別支援については、不採択するもののみを決定すること

イ. 採択の順序について

議案と別に配付している会議日程に記載の順で行うこと

ウ. 採択の方法について

- i) 各調査委員会委員長からの調査研究報告を受けた後に委員長への質疑応答を経た後、委員長退席後に全会一致となるまで意見交換・協議をすること
  - ii) 協議が調わない場合は、協議会規約第 8 条により「協議会役員で協議し、協議会会長が決定すること」とすること
- 全員異議無く、説明どおり進行することです承

以降、委員長報告および採択決定協議

## 【国語（国語・書写）】

### ◆委員長報告

会長／お座りください。それでは報告をお願いします。

(各種目共通の発言につき、以後、この部分の会長発言の記載を省略)

委員長／国語小委員会委員長の北見市立中央小学校校長の吉田昌広です。

国語小委員会は、9 名の調査委員で、7 月 2 日に開催された第 1 回調査委員会以降、道教委発行の「採択参考資料」等を参考としながら、観点に従って調査研究を行ってきた。

初めに、東京書籍「新しい国語」について報告する。

発行者の特徴として、「取扱内容」について、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元の始めで学習の見通しをもたせるとともに、考えを広めたり深めたりするように工夫されている。例えば第 5 学年の反対の立場を考えて意見文を書く学習では、相手の立場に立って具体的に反対意見を考えさせることで、説得力のある

意見文を書く活動が取り上げられている。また、各学年の最初に「対話」を取り扱った小単元を設け、学年を通して児童が学び合いを意識できるようにしている。「使用上の配慮等」については、学習指導要領の指導事項にあたる「言葉の力」を明確にし、単元の振り返りで児童が身に付けた力を実感できるように工夫されている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、学校図書「みんなと学ぶ 小学校国語」について報告する。

発行者の特徴として、「取扱内容」について、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元末の学習の手引きにおいて、見通しと振り返りの活動、学び合いの活動ができるように工夫されている。例えば第3学年の「変化のきっかけを読もう」の単元では、学習課題を確認し、気持ちの変化を考え、感想を話し合う活動などが取り扱われている。「使用上の配慮等」については、学年の最後の単元に、例えば第3学年では「3年生を振り返って」を位置付け、1年間の学びを振り返り、児童が次の学年でも主体的に取り組めるよう工夫されている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、教育出版「ひろがる言葉 小学国語」について報告する。

発行者の特徴として、「取扱内容」について、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元末に手引きを設け、学習課題を設定し、4つのステップの見通しをもたせることができるよう工夫されている。例えば、第3学年「段落の要点をつかもう」では、2つの難易度のある説明文を段階的に読むことで、文の構成や段落の要点を整理したり、読み取ったことを友達と交流したりできるように工夫されている。「使用上の配慮等」については、単元末の見開きの手引きに、学習の進め方や対話的な学習を深めるための対話例を示したり、「ここが大事」というコラムで、教材に関係する学習のポイントを示したりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

最後に、光村図書「国語」について報告する。

発行者の特徴として、「取扱内容」について、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元の最後に学習の手引きを設け、4つのステップで学習の見通しをもたせるように工夫されている。例えば第2学年の「想像したことを、音読劇で表そう」の単元では、登場人物のセリフを、誰が言ったか、どのように動くか、どのように読むかを考え、段階的に子どもの実態に応じて音読劇に取り組むことができるよう工夫されている。「使用上の配慮等」については、学年始めのガイダンスや、単元末にある学習の手引きで学習過程を示し、児童が見通しをもって主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。また、「情報の扱い方に関する事項」にもトピックを設けて対応している。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

以上で、国語についての報告を終わる。

引き続き、書写について報告する。

初めに、東京書籍「新しい書写」について報告する。

発行者の特徴として、「取扱内容」について、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば、第3学年の「はがきで伝えよう」の学習では、学習活動を見通すとともに、これまでの学習をどのように活かしたかを友達と話し合う場を設定し、考えを深めたり広げたりする活動が工夫されている。「使用上の配慮等」については、学習過程を図解した「書写の学び方」を掲載したり、自己評価の場を設けたりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、学校図書「みんなと学ぶ 小学校書写」について報告する。

発行者の特徴として、「取扱内容」について、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば、第3学年の「ひらがな」の学習で、漢字と平仮名の筆遣いに注意して書くという課題を設定し、見通しや学習を振り返る場を設定するなど、児童が考えを広げたり深めたりする活動ができるよう工夫されている。「使用上の配慮等」については、学習過程をわかりやすく示した「学習の進め方」を掲載したり、自己評価の場をもうけたりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、教育出版「小学書写」について報告する。

発行者の特徴として、「取扱内容」について、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば第4学年「レッツ・トライ」では、字間、行間等に気を付ける課題を設定して見通しをもたせるなど、内容をわかりやすく伝え合う工夫について紹介し合い、考えを広げたり深めたりすることができるように工夫されている。「使用上の配慮等」については、教科書の文学教材を視写したり、新聞を書いたりする活動で国語との関連を図るなど、児童の学習意欲が高まる工夫をしている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、光村図書「書写」について報告する。

発行者の特徴として、「取扱内容」について、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば、第4学年「リーフレットの書き方」では、課題を設定し見通しをもたせるとともに、書き上げたものの内容や見やすさなどを友達と紹介し合うなど、考えを広げたり深めたりすることができるよう工夫されている。「使用上の配慮等」については、原稿用紙に書く活動や短歌を作って書く活動で、国語との関連を図るなど、児童の学習意欲が高まる工夫をしている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、日本文教出版「小学書写」について報告する。

発行者の特徴として、「取扱内容」について、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば第4学年「お気に入りの本を紹介しよう」では、課題を設定し、見通しをもたせるとともに、書き上げたリーフレットの内容や見やすさなどを友達と紹介し合う

など、考えを広げたり深めたりすることができるように工夫されている。「使用上の配慮等」については、学習過程をわかりやすく示した「書写学習の進め方」や自己評価欄を設定するなど、児童が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

以上で、書写の報告を終わる。

#### ◆質疑応答

会長／国語の調査研究報告について質問等はないか。

Q ／学習指導要領の「目標」に位置付けられている「言語活動例」について、各者、どのような配慮がなされているか。

また、児童の学習意欲を高めたり刺激したりするための工夫について、各者どのようになされているか。

A ／学習指導要領の「目標」に位置付けられている「言語活動例」については、各者とも、各学年の発達段階を考慮していること、日常生活や他教科等へのつながりを意識して、国語の時間で学んだ国語の力が、日常生活で生きて働く力になることを意識した言語活動例が取り上げられている。

学習の意欲を高める工夫については、新学習指導要領では、「意欲」の部分で「主体的」という言葉で表しており、また子どもの意欲を「主体的・対話的で深い学び」という3つのキーワードでくくった表現のされ方をしているため、これらを含めて回答する。各者とも、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元においては、単元の始めに学習の進め方が示され、終わりには振り返りが位置付けられているため、学習が始まってから、また終わってからも、子どもの学びの意欲が持続する工夫がなされているという調査研究を行った。また、「読むこと」の単元では、東京書籍は3つ、その他は4つの学習過程が手引きに示されている。また、東京書籍、教育出版、光村図書については単元の扉が設定されていて、子どもたちが新しい単元に入る際に期待を高める工夫がなされている。

Q ／小学校においても古典に関する指導が求められているが、各者、どのような取扱いとなっているか。

また、図書館の活用や読書活動の充実について、各者、どのような配慮がなされているか。

A ／古典の取扱いについては、各者とも、高学年において「竹取物語」「平家物語」「狂言」等が取り扱われ、感想交流や音読などの言語活動を通して、古典に親しむことを目指している。

図書館の活用については、各者とも、低学年から特設ページを設け、



図書館の活用について学べるようになってきている。児童の立場で見ると、初めて図書館を利用することから、順序立てて図書館の利用について書いてある教科書もあり、使いやすいのではないかとの意見も出ていた。読書活動については、各者とも読書に親しむ単元を設けたり、単元の中で読書カードを作ったり、教材に関連する作者を取り上げて、読書が日常に広がるよう工夫している。各者とも、単元末や巻末、付録の部分で、読書の世界を広げる工夫をしている。

Q /漢字の指導に関わり、児童が字形や筆順を正しく覚えるようにするために、各者どのような取扱いとなっているか。

A /各者とも、単元の中で新出漢字の読み書きを取り扱っている。その他、各者で特徴があるが、年間で何度か出てくるシリーズがあり、学校図書の「漢字の広場」では、その学年で取り扱った漢字について復習できるページを設けている。光村図書の「漢字の広場」では、前学年で習った漢字を復習するページを設けている。東京書籍の「漢字の練習」では、前学年で習った漢字を取り上げるページを設けている。教育出版の「漢字の広場」では、ノート指導、同音異義、複合語、熟語など、毎回違ったテーマについて取り上げるページを設けている。また巻末で、教育出版、東京書籍、学校図書はその学年で習った漢字と、それまでに習った漢字に分けて一覧に示している。

会 長 /他の質問はないか。(なし)

無ければ書写の質問に移る。

Q /書写は毛筆と硬筆に分けられると思うが、目的に応じた筆記具をどう選ぶか、またその特徴を生かして書写活動をすることについて、各者、どのような取扱いとなっているか。

A /各者とも、特に第5学年において、それぞれの筆記具の種類と特徴について、図解入りで取り上げられている。東京書籍、教育出版、光村図書、学校図書は、実際にポスターや新聞、手紙の例を考えさせることで、その実用性を実感できるように配慮されている。特に教育出版と光村図書は、ポスターや手紙で心を伝えるための用具として丁寧な取扱いがなされている。

Q /毛筆の指導における、硬筆の指導と表現や言葉との関連について、各者、どのような配慮がなされているか。

A /各者とも、毛筆書写で身に付けた字形や文字の組立てなどが、硬筆書写の基礎を養う学習として繰り返し練習するように位置付けられている。すべての教科書で、毛筆と硬筆が関連付けられて取り扱われている。

Q /日常生活や学習活動に生かすことのできる書写の能力を育成することについて、各者、どのような配慮がなされているか。

A /各者とも、書写で学んだ基礎・基本的な技能を、他教科や日常生活の中で活用できるよう、手紙や新聞記事、パンフレットを書くなど、様々な言語活動を盛り込む配慮がなされている。

(質疑応答終了)

#### ◆意見交換・採択協議

会 長 /引き続き、国語の採択の審議に入る。  
まずは国語から。

- 調査委員会での調査研究報告によると、4者の教科書については、取り上げている教材の内容や取り扱いの分量に取り立てて大きな差異はないということであったと思う。その中で特に伝統的な言語指導について、言葉や生活文化は時代の変化によって変わっていくため、伝統的な言語についてはこの時期にしか学べない。この部分について、各者どのように取り扱っているか比較したところ、伝統的な言語活動でいえば光村図書が26教材であり、また北海道に関わりのある教材についても、光村図書が18教材と際立っていた。さらに、義務教育学校や小中連携校が増えていく中、小学校と中学校の教科書のつながりを無視できないという観点からも、光村図書が良いと思う。
- 今後10年間の見通しを持った中でいくと、光村図書が良いと思う。学習課程を明確にしており、見通しを持った学習をする配慮として、単元の始めに学習の進め方を示している。また、学習活動を見開きで提示しており、学習を進めやすくなっていると思う。さらに、読む教材に関連した本の紹介では、低学年では物語を中心にしており、高学年では科学や伝記、資料なども入れて幅広く紹介していて、学習意欲をもたせるものである。また、光村図書は手話や点字が資料として入っている。

会 長 /他の意見はないか。(なし)

これまでの審議の経過を踏まえて、国語は光村図書と決定することとしてよろしいか。(異議なし)

それでは、国語については、全会一致で光村図書の教科用図書を採択することと決定する。

引き続き、書写の採択の審議に入る。

- 書写は、活動そのものは違うが、国語と深いつながりがあるため、

国語との連動を考えると光村図書が良いのではないか。

会長／他の意見はないか。(なし)

書写は国語との関連が密接であるとの意見があることから、これまでの審議の経過を踏まえて、書写は光村図書と決定することとしてよろしいか。(異議なし)

それでは、書写については、全会一致で光村図書の教科用図書を採択することと決定する。

## 【社会（社会・地図）】

### ◆委員長報告

委員長／社会小委員会委員長の北見市立美山小学校校長の伊井俊明です。

社会小委員会は、9名の調査委員で、7月2日に開催された第1回調査委員会以降、「教科書編成趣意書」、道教委発行の「採択参考資料」等を参考資料としながら、観点に従って調査研究を行ってきた。

初めに、東京書籍「新しい社会」について報告する。

発行者の特徴として、「取扱内容」については、地域社会に関する内容については、第4学年において、地震や風水害などの自然災害から人々を守る活動について調べたり、伝統芸能や用水路の開発など、地域の発展に尽くした人々について調べたりする活動を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第3学年では、市の移り変わりの学習において、学習問題を設定し、児童に見通しを持たせるとともに、市の交通網の発展や土地利用の変化について調べ、これからの市の発展について話し合い、考えを広げたり深めたりするような学習活動が取り上げられている。「使用上の配慮等」については、第5学年の「寒い土地の暮らし」にかかわる学習においては、雪と共に暮らす札幌市民の事例を掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、教育出版「小学社会」について報告する。

発行者の特徴として、「取扱内容」については、地域社会に関する内容については、第4学年において、地震や火山の噴火などの自然災害から人々を守る活動について調べたり、伝統芸能や新田開発など、地域の発展に尽くした人々について調べたりする活動を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第3学年では、市の移り変わりの学習において、学習問題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、交通網の発達や土地利用の変化について調べ、市がどのように変わっていくのがよいかについて話し合い、考えを広げたり深めたりするような学習活動が取り上げられている。「使用上の配慮等」に

については、第5学年の「自然条件と人々の暮らし」にかかわる学習において、踏切前にロードヒーティングを設置している旭川市の事例を掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

最後に、日本文教出版「小学社会」について報告する。

発行者の特徴として、「取扱内容」については、地域社会に関する内容については、第4学年において、水害や津波などの自然災害から人々を守る活動について調べたり、産業や医療などの面から地域の発展に尽くした人々について調べたりする活動を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第3学年では、市の様子の移り変わりの学習において、学習問題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、昔の交通や土地利用、生活道具の時期による違いについて調べ、これからの市の発展について話し合い、考えを広げたり深めたりするような学習活動が取り上げられている。「使用上の配慮等」については、第5学年の「寒い土地の暮らし」にかかわる学習において、寒さや雪を防ぐ工夫をしている旭川市の事例を掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

引き続き、東京書籍「新しい地図帳」について報告する。

発行者の特徴として、「取扱内容」については、各学年の目標が達成できるよう、「地図帳の使い方」を活用して、方位や地図記号を理解したり、「日本列島広域地図」において、都道府県における自分たちの住む市区町村の位置、市区町村の地形や土地利用、交通の広がりを調べたりする活動が取り上げられている。主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、冒頭の世界と日本のイラストマップで学習意欲を喚起したり、キャラクターの吹き出しで地図活用の手掛かりを示したりすることで、児童が見通しをもって学習問題の解決に取り組むことができる工夫がなされている。「使用上の配慮等」については、写真やイラスト等の多様な表現を用いたり、アイヌ語に由来する地名や、北海道の広さをほかの都府県と比較する活動を掲載したりするなど、児童の学習意欲を高めるような工夫がなされている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

最後に、帝国書院「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」について報告する。

「取扱内容」については、各学年の目標が達成できるよう、「地図帳の使い方」を活用して、方位や地図記号を理解したり、「広く見わたす地図」において、都道府県における自分たちの住む市区町村の位置、市区町村の地形や土地利用、交通の広がりを調べたりする活動が取り上げられている。主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、雪の多い都市の工夫を示した札幌市中心部の地図で学習意欲を喚起したり、キャラクターの吹き出しで児童の興味・関心を高めたり

することで、児童が見通しをもって学習問題の解決に取り組むことができる工夫がなされている。「使用上の配慮等」については、写真やイラスト等の多様な表現を用いたり、北海道の食材を使ってカレーライスを作るために、北海道の野菜の産地を調べたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

以上で社会小委員会の報告を終わる。

#### ◆質疑応答

会長／社会の調査研究報告について質問等はないか。

Q ／社会科においては、社会的な見方、考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、資質・能力を育成することが求められているが、このことについて、各者、どのような配慮がなされているか。

A ／社会科においては、新学習指導要領で求められている、主体的・対話的で深い学びの実現に資する内容が記載されている。各者、単元の学習問題を設定し、児童に見通しをもたせ、「社会的な見方・考え方」を働かせて問題解決的な学習を進め、様々な方法でまとめる場面を設定することで、主体的・対話的で深い学びが実現するよう単元を構成している。また、教科書の巻頭や各ページ等に、学習の進め方を例示したり、「見方・考え方」の視点や方法を示したりするようにしている。

Q ／北海道はもとよりオホーツク管内においては、アイヌの人たちの歴史や文化等に関する学習や、北方領土に関する学習を充実させることが求められているが、このことについて、各者、どのように取り組われているか。

A ／アイヌの人たちの歴史や文化等に関する学習は、各者、民族の歴史や文化、交易、人権、地名などについて、教科書本文、囲み資料、写真などを用いてアイヌ民族の歴史や文化について取り上げている。東京書籍は、第5学年の国土の学習と第6学年の歴史の学習の中で、教育出版は、第5学年の国土の学習と第6学年の政治の学習の中で、日本文教出版は、第6学年の歴史の学習の中でそれぞれ取り上げている。北方領土については、各者、第5学年の国土の学習と第6学年の歴史で取り組われている。第5学年では、日本の国土や位置ということで取り上げられ、日本は島国で南北に長く多くの島からなっていて、北方領土は其中で日本の国土として扱われ、地図で位置を示されており島名や写真も掲載されている。第6学年では、隣国との関係や、これからの日本として、領土問題として扱われている。北方領土に関する記述は、我が国固有の領土であるものとして、ロシア連邦が占領して返還するように交渉している、求めていると記述されている。

Q /各都道府県ごとに、各地域の特色を考えるようにすることが求められているが、特に、北海道に関する学習において、各者どのように取り扱われているか。

A /各者、第3学年から第5学年までの学習の中で、北海道を扱っている教材があり、東京書籍、教育出版は、第6学年のアイヌ民族の記述などで北海道を取り扱っている。第5学年の「寒い土地の暮らし」においては、東京書籍は札幌市や十勝地方について、教育出版は札幌市について、日本文教出版は旭川市を主に取り扱っている。また、同じく「水産業の盛んな地域」の学習においては、教育出版は根室市を取り上げている。

会 長/他の質問はないか。(なし)

無ければ地図の質問に移る。

Q /小学校修了までに、47都道府県の名称と位置を確実に身に付けることが求められているが、この点について、各者どのような配慮がなされているか。

A /2者とも、第3学年からの使用に対応するための「見やすさ・わかりやすさ」、「様々な学習への対応」を意識して作成されている。また、47都道府県の名称と位置を確実に定着させるため、帝国書院は、形や文字、位置などをもとにしたイラスト紹介、手話で表都道府県として掲載し、東京書籍は、クイズの形で掲載し、それぞれ工夫が見られる。

Q /「北方領土」、「竹島」、「尖閣諸島」については、各者どのように取り扱われているか。

A /2者とも、地図だけでなく写真と説明により、日本固有の領土として取り扱っている。東京書籍は、北方領土は「日本とそのまわり」のページの中で、尖閣諸島は「日本列島」のページの中で、竹島は「中国地方」のページの中で、個別に取り扱っている。帝国書院は、「日本の領土とそのまわり」のページの中ですべて取り扱っている。

Q /地図も社会と同じく、都道府県の様子について、その特色を考えるようにすることが求められているが、特に、北海道に関する記述について、各者どのように取り扱われているか。

A /新学習指導要領では、主体的・対話的で深い学びが求められているが、各者、キャラクターの吹き出しで児童の興味・関心を高めたり、地図活用の手がかりを示したりすることで、児童が見通しを持って学習問題の解決に取り組むことができるように取り扱っている。また、東京書籍で

は、知床など日本のすべての世界遺産を写真で取り上げていたり、帝国書院では札幌市中心部の雪対策について掲載したりしている。

(質疑応答終了)

#### ◆意見交換・採択協議

会 長／引き続き、社会の採択の審議に入る。  
まずは社会から。

- 各者とも、学習意欲を高め、主体的に学習に取り組む工夫が見られる。特に教育出版については、わかりやすいグラフや地図、レイアウト、配色、洗練された写真やイラストによってポイントを示すなど、学習を支援する配慮がなされている。また、北海道の地域素材の取り上げのページ数も多く、URL や QR コードの掲載数が教育出版は 179 箇所と多い。自然災害や領土に関するページも他者に比べて多く取り扱われていることから、教育出版が良いと思う。
- 各者、使用上の便宜や内容の構成、排列等、大きな差はなく、それぞれに工夫されているところではあるが、身近な地域が数多く取り上げられていること、児童が見通しを持って学べる構成となっていること、授業づくりにすぐ活かせる構成であることを重視し、教育出版が良いのではないかと思う。

会 長／他の意見はないか。(なし)

これまでの審議の経過を踏まえて、社会は教育出版と決定することとしてよろしいか。(異議なし)

それでは、社会については、全会一致で教育出版の教科用図書を採択することと決定する。

引き続き、地図の採択の審議に入る。

- 2 者とも大きな差はない。地図については、子どもたちが使いやすい、見やすい、わかりやすいことがポイントになると思うが、帝国書院は、地図上に文字が重なっていないなど、すっきりとしてバランスが取れているため、わかりやすいものになっている。また、北海道に関わる内容や自然災害等に関する内容も多く取り扱っており、URL や QR コードの掲載数も 38 箇所と多く、特に QR コードについては各ページに掲載されている点が評価できると思う。
- 地図帳については、見やすさ、わかりやすさ、親しみやすさが需要になってくると思うが、帝国書院はそのような地図帳になっていると思う。また、地図帳の見方や使い方についての説明が充実しており、自然災害や産業についての資料も充実している。ページ数は他者と比べると多い

が比較的軽量であり、そういった点からも帝国書院が良いと思う。

会 長／他の意見はないか。(なし)

これまでの審議の経過を踏まえて、地図は帝国書院と決定することとしてよろしいか。(異議なし)

それでは、地図については、全会一致で帝国書院の教科用図書を採択することと決定する。

## 【算数（算数）】

### ◆委員長報告

委員長／算数小委員会委員長の佐呂間町立若佐小学校校長の二神孝久です。

算数小委員会は、8名の選定委員で、7月2日に開催された第1回調査委員会以降、「教科書編集趣意書」、道教委発行の「採択参考資料」等を参考資料としながら、観点に従って調査研究を行ってきた。

初めに、東京書籍「新しい算数」について報告する。

発行者の特徴として、「取扱内容」については、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について、例えば第5学年では、平面図形の性質の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、4つの角の大きさの和の求め方について考え、考えの共通点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が取り扱われている。「使用上の配慮等」については、「単元プロローグ」で児童が課題を見いだす様子を例示したり、「いかしてみよう」で学習したことを日常生活に活用する活動を取り上げたりするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、大日本図書「たのしい算数」について報告する。

発行者の特徴として、「取扱内容」については、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について、例えば第5学年では、平面図形の性質の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、四角形の内角の和が $360^\circ$ となる理由について考え、考えの共通点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が取り扱われている。「使用上の配慮等」については、「ふくろう先生のなるほど算数教室」で興味・関心を高める教材を取り上げたり、「算数たまてばこ」で生活と結び付ける活動を取り上げたりするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、学校図書「みんなと学ぶ小学校算数」について報告する。

発行者の特徴として、「取扱内容」については、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば第5学年では、平面図形の面積の学習において、面積を求める公式の「 $\div 2$ 」の表す意味などが取り上げられており、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、考えの相違点などについて話し合い、考えを広げたり深めたり



できるよう工夫されている。「使用上の配慮等」については、日本の自然や伝統文化などを学習の素材として取り入れたり、ページの左側に「～したいな」などの児童の視点に立った言葉で表したりするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、教育出版「小学算数」について報告する。

発行者の特徴として、「取扱内容」については、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について、例えば第5学年では、立体図形の体積の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせ、面積の学習を活用する方法について考え、考えの相違点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が取り扱われている。「使用上の配慮等」については、授業開きの特設教材で問題解決の楽しさを味わうことを促したり、典型的な誤答の見られる問題に「考えるヒント」を掲載し、解決の着眼点を与えたりするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、啓林館「わくわく算数」について報告する。

発行者の特徴として、「取扱内容」については、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について、例えば第5学年では、小数の乗法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせ、計算の方法について考え、考えのよいところ、共通点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が取り扱われている。「使用上の配慮等」については、「わくわく算数ひろば」で主体的に探究活動に取り組めるよう配慮したり、「学びのサポート」で自主的に取り組むことができる内容を取り上げたりするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、日本文教出版「小学算数」について報告する。

発行者の特徴として、「取扱内容」については、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について、例えば第5学年では、平面図形の性質の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせ、四角形の内角の和の求め方について考え、考えの共通点などについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が取り扱われている。「使用上の配慮等」については、「単元アプローチ」で遊びの要素がある内容を掲載したり、「算数アドベンチャー」で数学的な面白さを実感できる内容を掲載したりするなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

以上で、算数小委員会の報告を終わる。

#### ◆質疑応答

会長／算数の調査研究報告について質問等はないか。

Q /子どもが目的意識をもって主体的に取り組む「数学的活動」の大切さが一層強調されているが、各者、この点について、どのような配慮がなされているか。

また、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付けさせるために、反復学習が重要と考えるが、各者、この点についてどのような取扱いになっているか。

A /目的意識をもって主体的に取り組む「数学的活動」については、東京書籍は、数学的活動を可視化した「今日の深い学び」というページ、大日本図書は、見方・考え方を発見し活用する「ひらめきアイテム集」というページ、学校図書は、自ら問題を見つけ見通しをもつ問題発見の場面がイラストで提示されている「発見」というページが用意され、さらに学校図書は、数学的な見方・考え方を身に付けるための9体のモンスターが登場する工夫をしている。教育出版は、目的意識をもって数学的活動に取り組むための単元導入「どんな学習がはじまるかな？」のページのほか、問いの連続でつくる数学的活動として、各ページに、子どもの問いから始まり、学びを深める問い、見方・考え方、そこから新たな問いが生まれるよう工夫されている。啓林館は、既習事項や日常の問題から学びをつなげる「単元とびら」というページ、日本文教出版は、学習したことを生活の場面に活かし、算数の楽しさや意義を実感するための「Hello Math」「つなげる算数」というページが用意されているなど、各社において、単元のページにすぐ入るのではなく、日常の事象などから問題を発見し、目的意識を持って数学的活動に取り組むための工夫がされている。

基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付けさせるための反復学習については、東京書籍は、基礎的・基本的な内容を定着させるための「たしかめよう」というページや、巻末に補充問題「ほじゅうもんだい」を設けている。大日本図書は、毎時の適用問題を大幅に増量し、巻末補充問題「プラス・ワン」を設け、無料の補充プリントをウェブサイトを用意している。学校図書は、単元末の練習問題「できるようになったこと」「まなびをいかそう」というページのほか、巻末補充問題「ほじゅう問題」を設けている。教育出版は、単元末で知識を振り返る「ふりかえろう」、技能を確かめる「たしかめよう」というページのほか、巻末補充問題「ステップアップ算数」を設けている。啓林館は、2段階の問題を設定して、習熟度別学習にも対応している巻末補充問題「もっと練習」を設けている。日本文教出版は、基礎・基本を身に付けるくり返し学習「次の学習のために」「たしかめポイント」というページのほか、巻末補充問題「算数マイトライ」を設けている。各者とも、毎時の練習問題に加え、単元の導入前に既習事項を確認する復習問題、単元の終わりに学んだことを確かめる問題を用意している。さらに、巻末には20ページ前後の補充問題を用意して、授業の中だけでなく、自主学習、家庭学習で活用できるように工夫している。

Q /小学校では算数、中学校では数学であるが、特に小学校では算数嫌いにならないために、子どもの興味・関心を高めるため、日常の事象や身近な題材などとの関連が有効と考えるが、各者、この点について、どのような工夫がなされているか。

また、全国学力調査において、管内の子どもたちは、全国、全道の子どもたちと同様の課題を抱えており、特に思考力や表現力の向上が課題に挙げられるが、この点について、各者、どのような配慮がなされているか。

A /子どもの興味・関心を高めるための日常の事象との関連については、数学的活動に対する配慮がなされており、その中に「日常の事象から見いだした問題を解決する活動」として、日常の事象との関連が大きく図られている。各者とも、例えば5年生の平均の学習において、自分の歩幅を計算し、その歩幅を使って道のりや学校の長さを測ってみる活動が取り入れられている。また割合の学習において、自分たちの遊びの中でバスケットボールのシュートがよく入ったのはどちらかを比べる方法を考える、ドッジボール大会の途中経過でどこが勝率が高いのかを比べる、学習発表会で演奏する楽器の希望を聞いたときに、定員と希望で混み合っているのはどれかを考える、輪投げ遊びをして輪投げの上手さを比べるにはどうしたらよいか考えるなど、日常の事象から問題を発見し、目的意識を持って数学的活動に取り組むための工夫が各者にみられる。

思考力・表現力を高めるための工夫については、東京書籍は、数学的活動で思考力、判断力、表現力を伸長する「今日の深い学び」が、2年生以上の学年合わせて13単元用意されている。大日本図書は、学び合いの授業で考える力を伸ばす「じっくり深く学び合おう！」という単元が、各学年2~3箇所ずつ用意されている。学校図書は、「考える力」「判断する力」「表す力」を「3つの学びの力」として提示し、本文中にもこれらを使った問題を配置しており、また主体的・対話的で深い学びの実現のための「活動!!」「アクティブ!!」というページが、旧3学期制ではあるが、1学期末と2学期末に用意されている。教育出版は、「思考力・表現力の育成は日々の授業の積み重ねで」ということで、毎日の授業で振り返る「なるほど」、単元のまとめで振り返る「4コマ漫画」、表現力を育てるノート指導「友だちのノートを見てみよう」というページが用意されている。啓林館は、思考力を育む思考法単元の設定があり、2年生以上で2~3単元用意されている。日本文教出版は、数学的な見方・考え方を働かせる際の手がかりとなる「算数で使いたいことば・考え方」が提示されているなど、各者、工夫がみられる。さらに、各者とも授業のモデルを黒板で示し、学習過程を示したり、ノートの書き方を丁寧に示したりするなど、日々の授業が丁寧に取扱われている。

Q /算数としての系統性を重視する観点から、既に学習した事柄を振り返

ったり、思い起こさせたりする場面の位置づけが重要であると考えますが、この点について、各者、どのような工夫がなされているか。

また、「プログラミング的思考」などを育むプログラミング教育の位置づけが求められているが、この点について、各者、どのような取り扱いになっているか。

- A /既習事項の振り返りや思い起こさせるための工夫については、東京書籍は、既習内容の理解を継続的に確認するための「おぼえているかな？」というページが用意されている。大日本図書は、前の学年までの既習事項が確認できる「前学年までのまとめ」や、振り返りが効果的なところに「リンクマーク」をつけている。学校図書は、学習を統合的に見ることができるようにするための「ふりかえろう つなげよう」というページが用意されている。教育出版は、系統を意識して学べるようにする既習の内容のまとめの「学びのマップ」、単元から巻末の資料にリンクする「学びのマップ」、作図や算数用具の使い方も繰り返し学び直せる「学びの手引き」といったページが用意されている。啓林館は、毎単元、レディネスチェックのための巻末問題へのリンク「じゅんび」というページや、QR コンテンツも用意されている。日本文教出版は、次の単元に入る前に「次の学習のために」というページが用意されている。各者とも、単元の導入前に既習事項を確認する復習問題を用意しており、また、既習内容をまとめた資料を巻末に用意し、単元からリンクできるようにするなどの工夫がなされている。

プログラミング教育については、東京書籍は、特設ページ「プログラミングを体験しよう」が5年生2箇所、6年生1箇所に設けられ、デジタルコンテンツが用意されている。大日本図書は、「プログラミングにちょうせん！」というページで、1～4年生はパソコンを使わない数学的活動、5～6年生はソフトウェアを使用した活動が用意されている。学校図書は、「プログラミングのグ」から「プログラミングのロ」というように順番に進むページが用意され、全学年でQRコードから簡易的なサイトにつながるよう工夫されている。教育出版は、デジタル教材「まなびリンク」の中に設定されている。啓林館は、学期末に設定された「わくわく算数ひろば」の中の「算数ラボ」というページに、5～6年生各1つずつ用意されている。日本文教出版は、ホームページにデジタルコンテンツが用意されており、現段階で5年生1つ用意されている。各者とも、プログラミング的思考に留意した教材や、コンピュータを使ったプログラミングを体験できるコンテンツも用意されている。

(質疑応答終了)

#### ◆意見交換・採択協議

会 長／引き続き、算数の採択の審議に入る。

- 各者とも、学習指導要領の総則や算数科の各学年の目標を達成できるように工夫された学習活動で構成されていると思う。その中でも教育出版は、既習事項を活用したり統合したりして、学習内容や見方・考え方を関連付けて学べるよう系統的、発展的な単元排列について工夫していると思う。また、授業びらきの特設教材や巻末には、探求的な教材を掲載して児童の興味・関心を高める工夫をしている。
- 各者とも、取扱内容や使用上の配慮事項等に大きな差はないが、特に教育出版では、子どもたちに考えるヒントがあり、考える力を身に付けるように工夫がされている。まとめ、振り返り、既習が確かめられ、問題も多く用意されていることから、子どもたちの学習意欲を高めながら、見通しを立てた主体的な学習ができるよう工夫されていることから、教育出版が良いのではないかと。
- 自力解決や、各活動を通して数学的な思考力や表現力を高めるという観点から、教育出版が良いのではないかと。教育出版の教科書の中で、典型的な誤答のみられるような問題を意図的に取り上げ、考えるヒントを掲載し自力解決を支援しているところが多い。また、ノートに書く活動を重視して、友達の一単位時間の授業ノートの例を示し、数学的な思考力や表現力を高めるような工夫がなされている。また、北海道に関わりのある内容の掲載が多いのも特徴である。

会 長／他の意見はないか。(なし)

これまでの審議の経過を踏まえて、算数は教育出版と決定することとしてよろしいか。(異議なし)

それでは、算数については、全会一致で教育出版の教科用図書を採択することと決定する。

## 【理科（理科）】

### ◆小委員長報告

委員長／理科小委員会委員長の訓子府町立訓子府小学校校長の大友信也です。

理科小委員会は、7名の調査委員で、7月2日に開催された第1回調査委員会以降、「教科書編集趣意書」、道教委発行の「採択参考資料」等を参考資料としながら、観点に従って調査研究を行ってきた。

初めに、東京書籍「新しい理科」について報告する。

「取扱内容」については、物質・エネルギーでは、粘土やアルミニウム箔の形を変えて重さを調べる実験や、折り紙とストローでつり合いを利用したおもちゃを作るものづくりなどの活動を通して、問題解決の力を養うことができるようになっている。また、生命・地球については、動物のからだのつくりと動き方を調べる観察や、水の量を変えて流れる水の働きを調べる実験などの活動を通して、問題解決の力や生命を尊重する態度を養うことができるようになっている。「使用上の配慮等」に

については、コラム「理科のひろば」として、学習内容が社会に生かされていることを紹介し、理科を学ぶ意義をとらえられるようにしたり、北海道の有珠山が噴火する様子の写真を掲載したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、大日本図書「たのしい理科」について報告する。

「取扱内容」については、「物質・エネルギー」では、アルミニウムや鉄などの種類の違う物の重さを調べる実験や、紙とストローでつり合いを利用したおもちゃを作るものづくりなどの活動を通して、問題解決の力を養うことができるようになっている。また、生命・地球については、骨のつくりと腕の動きの関係を調べる観察や、流れる水の量と働きとの関係を調べる実験などの活動を通して、問題解決の力や生命を尊重する態度を養うことができるようになっている。「使用上の配慮等」については、コラム「りかのたまてばこ」として、学習内容が社会に生かされている事を紹介し、理科を学ぶ意義をとらえられるようにしたり、北海道別海町で見られた巻積雲の写真を掲載したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、学校図書「みんなと学ぶ 小学校理科」について報告する。

「取扱内容」については、物質・エネルギーでは、粘土の置き方や形を変えて重さを調べる実験や、てこの働きを利用した「郵便物専用はかり」を作るものづくりなどの活動を通して、問題解決の力を養うことができるようになっている。また、生命・地球については、自分の腕や手のつくりを調べる観察や流れる水の働きを調べる実験などの活動を通して、問題解決の力や生命を尊重する態度を養うことができるようになっている。「使用上の配慮等」については、コラム「資料」として、学習内容が日常生活に生かされていることを紹介し、理科を学ぶ意義をとらえられるようにしたり、北海道の有珠山が噴火する様子の写真を掲載したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、教育出版「未来をひらく 小学理科」について報告する。

「取扱内容」については、物質・エネルギーでは、粘土や新聞紙の形を変えて重さを調べる実験や、乾電池をおもりにしたさおばかりを作るものづくりなどの活動を通して、問題解決の力を養うことができるようになっている。また、生命・地球については、腕や脚を動かすときの筋肉の様子を調べる観察や、流す水の量を変えて流れる水の働きを調べる実験などの活動を通して、問題解決の力や生命を尊重する態度を養うことができるようになっている。「使用上の配慮等」については、コラム「科学のまど」として、学んだことと関連した身の回りの話題を紹介し、理科を学ぶ意義を実感できるようにしたり、豊平川に鮭の稚魚を放流する小学校の取組の写真を掲載したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記

載のとおり。

次に、啓林館「わくわく理科」について報告する。

「取扱内容」については、物質・エネルギーでは、粘土をいろいろな形に変えて重さを調べる実験や、てこの働きを利用したさおばかりを作るものづくりなどの活動を通して、問題解決の力を養うことができるようになってきている。また、生命・地球については、自分の体を触って体の中で曲げられるところを調べる観察や、流れる水と地面の様子を調べる実験などの活動を通して、問題解決の力や生命を尊重する態度を養うことができるようになってきている。「使用上の配慮等」については、コラム「理科の広場」として、身近な生活と関連した話題を紹介し、理科を学習する意義を実感できるようにしたり、北海道三笠市で採取されたアンモナイトの化石の写真を掲載したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

以上で、理科小委員会の報告を終わる。

#### ◆質疑応答

会長／理科の調査研究報告について質問等はないか。

- Q /理科の授業では、観察、実験などの結果から事象を考えることが特に大切と思われるが、各者、この点についてどのような配慮がなされているか。
- A /各者、結果を分析・考察する場面を設定し、結果をもとに子どもが自分の考えを検証することができるようにしている。さらに、各者、取り上げる場面は異なるが、子どもたちがノートにまとめる際の見本を示し、学びの基礎を身に付け、考える力を育むような工夫がなされている。
- Q /プログラミング教育への対応について、プログラミング的思考の育成という点で、各者、どのような配慮がなされているか。
- A /各者、6年の電気の単元で取り扱っている。例えば、電気の有効活用という観点でプログラミングの有用性について考える場面で、プログラミング教育を位置づけ、理科の学びを更に深める事ができるようにしている。他に、教科書上のQRコードを読み込むことで、コンピューターやタブレットでプログラミング体験ができるようにしたり、最も汎用性の高いプログラミング言語「scratch」を紹介し、具体例をもとにプログラムを学習できるようにしている教科書もある。
- Q /日常生活との関連を図り、理科の学習の面白さを感じる事が大切と言われているが、各者、この点についてどのような工夫がなされているか。

- A /各者とも、日常生活と学習内容を関連させ、理科の面白さや有用性を感じられるように理科の学びを身のまわりの現象と結びつけて紹介している。例えば、児童がわくわくするような資料をたくさん掲載したり、身の回りでどのように活用されているか紹介したり、自然の多様性、共通性、連続性が実感できる資料や、学習内容と関連する最先端の科学技術を紹介するなどの工夫がされている。また、博物館等との連携を図り、学校では体験することが困難な自然や科学に関する情報を提供している。
- Q /報告書の中で触れられていなかった部分であるが、理科の授業では実験、観察を抜きに考えられないが、その際の事故防止について、各者、どのような配慮がされているか、調査委員会で調査研究されていれば教えていただきたい。
- A /各者、教科書の前もしくは後ろで、安全眼鏡の使用についてなど特設的に取り上げている。

(質疑応答終了)

#### ◆意見交換・採択協議

会 長/引き続き、理科の採択の審議に入る。

- 調査研究報告書や他の参考資料から、観察や理科の実験などへの課題解決のアプローチの仕方や配慮、また学習の面白さや学ぶ意欲を高める工夫など、各者とも大事にしていると感じるが、新学習指導要領で求められている理科の見方、考え方を働かせながらの問題解決への活動を行い、資質・能力を育成することへの工夫がよりなされ、また児童の探究心を促して主体的な学びを深めることなどへの配慮、工夫を総合的に判断すると、東京書籍が優れているのではないかと思う。
- ノートの書き方や、危険に対する表示がきちんとされている東京書籍が良いと思う。
- 小学校においては、どの教科もそうだが、教員が高校、大学、大学院を含め、専門的に履修した教科領域だけを担当するということは、実情としてはほとんどない。理科に限っては、実験で使用する薬品や器材、調合等で、重大事故や少しの配慮で防止できた小さな事故等を含め、数が多いわけではないが発生することがある。その点から、委員長へも質問をしたが、事故防止への配慮についての観点でみると、現在使用している教育出版の教科書が良くできているという印象がある。もう1点、子どもたちが、教科書「を」学ぶか、という観点でい



えば、東京書籍が使いやすい。教科書「で」学ぶか、つまり教科書で取り扱う実験、観察等をきっかけにして自由研究などの発展的な広がりがあるという観点でみると、教育出版が良くできているという印象である。教科書「を」学ぶ、と、教科書「で」学ぶ、については、今回の教科用図書に限ったことではなく、二者の伝統的な特徴であるように思う。

- 高学年を中心にみたところ、その学習過程、探求過程の中で、「レッツスタート」という課題の把握をするときに非常に役立つコンテンツがあること、「確かめよう」という振り返りができるコンテンツがあり、これらは東京書籍のほうが発達している印象があること、他の学年との関連性がわかりやすい「学びをつなごう」というコンテンツがあることなどから、東京書籍が良いのではないかと思う。逆に、教育出版には板書のイメージがあり、これが教科書「を」教えるということにつながっているのではないか。教科書「で」学ぶ、という意見ももつともであるが、総合的にみて資料も充実しており、理科の広がりといった興味・関心を助長させるようなコンテンツが発達しているのは東京書籍ではないか。

会 長／ただいま、3名の委員からは東京書籍の教科用図書を採択すべきという意見が、1名の委員からは教育出版の特徴などの意見があった。

ここで暫時休憩する。再開は午後1時00分を予定。

午後0時00分 休憩

午後1時00分 再開

会 長／休憩前に引き続き再開する。

休憩前の審議の経過を踏まえて、理科は東京書籍のほうが多い意見が多いが、東京書籍の教科用図書と決定することとしてよろしいか。(異議なし)

それでは、理科については、全会一致で東京書籍の教科用図書を採択することと決定する。

## 【生活（生活）】

### ◆小委員長報告

委員長／生活小委員会委員長の北見市立上常呂小学校校長の天野昌明です。

初めに、東京書籍「新しい生活」について報告する。

「取扱内容」では、「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、学校で見つけたことを他者に伝えたり、町を探検したりする活動を通して、自分と身近な人々や社会及び自然とのかかわりについて考えることができるようになっている。また、主体的・対話的で深い学び

の実現に資する学習への対応については、各単元において学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、2年間にわたり、思いや願いを実現する登場人物を掲載したり、「学びを深める」を掲載したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。「使用上の配慮等」については、各単元の最初のページに育成すべき資質・能力を吹き出しとイラストで示したり、巻末に実物大の動植物を掲載した「ポケットずかん」を示したりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、大日本図書「たのしい せいかつ」について報告する。

「取扱内容」については、「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、校庭を探検して絵に表したり、インタビューカードを作成したりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりについて考えることができるようになっている。また、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、各単元において、学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、「せいかつことば」を掲載したり、「がくしゅうどうぐばこ」を掲載したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。「使用上の配慮等」については、単元の導入に見開きのダイナミックな写真を示したり、話形を示して児童自身の言葉を引き出す吹き出しを示したりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、学校図書「みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ」について報告する。

取扱内容については、「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、学校を探検して発見カードを製作したり、町探検すてき発見カードを製作したりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりについて考えることができるようになっている。また、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、各単元において学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、多様な活動の様子を掲載したり、「学び方図かん」を掲載したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。「使用上の配慮等」については、各単元のタイトルを工夫して自己決定の場の設定を示したり、児童の学びが深まるように2段階の学びの構成を示したりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、教育出版「せいかつ」について報告する。

「取扱内容」については、「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、校庭を散策して気付きの質を高めたり、町探検計画や地図を作成したりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりについて考えることができるようになっている。また、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、各単元

において学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、育成する資質・能力を「サイコロ」のアイコンとして掲載したり、「学びのポケット」を掲載したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。「使用上の配慮等」については、各単元の最初にインデックスを配置したり、「もしも」のページを示したり、自己評価や振り返りを示すなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、光村図書「せいかつ」について報告する。

「取扱内容」については、「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、通学路の様子を調べたり、公共施設を探検したりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりについて考えることができるようになっていきます。また、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、各単元において学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、各単元に「ホップ」のページで見通しを掲載したり、「ステップ」で活動を深く豊かにするヒントを掲載したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。「使用上の配慮等」については、各単元の学習活動を「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で示したり、「ステップ」の段階に活動を広げるヒントを掲載したりするなど、児童が主体的に取り組めるような工夫がなされている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、啓林館について報告する。

「取扱内容」については、「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、学校のまわりを歩いたり、発見したことを伝えたりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考えることができるようになっている。また、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、各単元において、学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、多様な学習活動例を掲載したり、「ひろがるきもち」で生活を豊かにしようとする姿を掲載したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。「使用上の配慮等」については、各単元において「わくわくの扉」を掲載し、単元の導入を工夫したり、巻頭に学習過程「わくわく、いきいき、ぐんぐん」を示したりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

最後に、日本文教出版「わたしと せいかつ」について報告する。

「取扱内容」については、「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」については、通学路を歩いてみたり、町の「すてき」を発表したりする活動を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりについて考えることができるようになっている。また、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元において、学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、「学びのまど」を掲載したり、「ちえ

とわざのたからばこ」を掲載したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。「使用上の配慮等」については、各単元で「学習のめあて」を表示したり、小単元の導入場面に「考えるための技法」を示したりするなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

以上で、生活小委員会の報告を終わる。

#### ◆質疑応答

会長／生活の調査研究報告について質問等はないか。

- Q /生活科においては、子どもたちの「気付き」の質を高めることが求められているが、この点について、各者、どのような配慮がなされているか。
- A /各者とも、写真やイラストを多く掲載することで、より多くの気付きが生まれ、対話的な授業が展開されることにより、質が高められるような配慮がされている。また、身近な北海道とかかわりのある内容を取り上げることで気付きの質を高める意図として、7者中4者が北海道とかかわりのある内容を資料として取り上げ、その内容は3ページから最大21ページとなっている。
- Q /小学校入学前の幼児期の学びを各教科にスムーズにつなげていくことが重要であり、そのために生活科を中心として、第1学年で「スタートカリキュラム」を編成することが求められているが、この点について、各者、どのような配慮がなされているか。
- A /各者とも、多くのページを使って、スタートカリキュラムの内容を扱っている。例えば、学校探検といった活動を通して挨拶の仕方や学校生活のルールなどを取り上げるなど、遊びや活動を通して学ぶ保育所や幼稚園からのゆるやかな接続を意図した構成の工夫などがなされている。なお、各者スタートカリキュラムの内容を取り上げているページ数は8ページから最大で35ページとなっている。
- Q /身近な動物や植物に興味・関心をもち、生き物を大切にすることができるようになることが求められているが、この点について、各者、どのような配慮がなされているか。
- A /各者、単元構成の中で、動植物の飼育、栽培に関する単元が各者4～5あり、活動を通して動植物に興味・関心をもち、生き物を大切にすることができるよう配慮されている。

Q /どこの出版社もユニバーサルデザインを用いているが、ユニバーサルデザインへの配慮について、各者、どのような工夫がなされているか。

A /各者とも、文字はユニバーサルデザイン書体を採用しており、イラストの配色もコントラストの強い配色を用いるなど、ユニバーサルデザインの工夫がなされている。

(質疑応答終了)

#### ◆意見交換・採択協議

会 長 /引き続き、生活の採択の審議に入る。

● 各者とも、学習意欲を高めるための配慮がされていると思うが、特に教育出版が良いのではないかと思う。全体的に導入から活動、振り返りという展開が非常にわかりやすいデザインになっているということ、写真やイラストが学習内容とよくマッチングしていることで、児童や教員が使いやすくなっていること、各単元のはじめにインデックスを配置し、学習の見通しを持たせやすくなっていること、学習の満足度のバロメーターとして「まんぞくはしご」を表示し、自己評価や学習意欲につなげる仕掛けづくりが好感が持てる。また、コラム「はってん」では、3年生以降の理科、社会科につなげる配慮が十分なされているという点からも評価できる。

● 各者工夫されていると感じるが、特に教育出版が良いのではないか。「学びのポケット」を掲載し、子どもたちの考えを広げたり深めたりする活動が取り入れられていたり、北海道に関する内容も比較的多く取り上げられている。また、「学びリンク」という QR コードが配置されており、関連する情報にもつながりやすくなっている。全体的に写真や絵の配色も良く、軽量で持ち運びの負担も少ないという点からも、教育出版が良いと思う。

会 長 /他の意見はないか。(なし)

これまでの審議の経過を踏まえて、生活は教育出版と決定することとしてよろしいか。(異議なし)

それでは、生活については、全会一致で教育出版の教科用図書を採択することと決定する。

#### 【音楽（音楽）】

会 長 /本日、音楽小委員会委員長の清里町立清里小学校の平野真奈美校長が他用務のため欠席となっている。代理として、網走市立東小学校教頭の上杉一弘委員より調査研究結果を報告していただく。

## ◆小委員長報告

上杉委員／音楽小委員会の網走市立東小学校教頭の上杉一弘です。

初めに、教育出版「小学音楽 音楽のおくりもの」について報告する。

「取扱内容」について、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について、第2学年では「みんなで合わせて」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、使う楽器の音の出し方を工夫して合奏するなど、考えを広げたり深めたりする活動となっている。第4学年では「わたしたちの表現」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、楽器の音や声の響きを聴き合いながら演奏するなど、考えを広げたり、深めたりする活動となっている。第6学年では「音楽に思いをこめて」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、楽曲に込められた思いを感じ取って歌うなど、考えを広げたり、深めたりする活動となっている。「使用上の配慮等」について、「学びナビ」や「学び合う音楽」コーナーを掲載したり、巻末資料に『「音楽のもと」まとめ』等の豊富な資料を掲載したりするなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、教育芸術社「小学生の音楽」について報告する。

「取扱内容」について、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について、第2学年では「ドレミであそぼう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、選んだ音でつくった短い旋律のつなげ方を工夫するなど、考えを広げたり、深めたりする活動となっている。第4学年では「いろいろなリズムを感じ取ろう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに 反復や変化を使ったリズムで音楽をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動となっている。第6学年では「いろいろな音色を感じ取ろう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、声の響きの重なりを生かして音楽をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動となっている。「使用上の配慮等」について、巻頭の「音楽の木」や巻末の「ふり返りのページ」を掲載したり、各ページに学習のねらいや音楽を形づくっている要素を示したりするなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

## ◆質疑応答

会 長／音楽の調査研究報告について質問等はないか。

Q /国歌「君が代」をいずれの学年においても歌えるようにする指導にかかわり、各者、どのような取扱いになっているか。

A /教育芸術社は、オリンピックやワールドカップの写真を掲載し、実際に歌われる場面を取り上げ、自分の国の国歌を大切にしたり他国の国歌

を尊重したりする気持ちをもって歌えるようにしている。教育出版は、すべての学年において「さざれ石」の写真を掲載したり、歌詞の意味や歌に込められた願いについて取り上げたりして、自分の国の国歌を大切にしたり他国の国歌を尊重したりする気持ちをもって歌えるようにしている。

Q / これからの世代の文化の担い手である子どもたちの育成において、教科書の果たす役割は大きいと思うが、この観点から、我が国や郷土の音楽の指導の充実を図ることが求められているが、各者、どのような工夫がなされているか。

A / 例えば、北海道民謡であるソーラン節は、教育出版は4年生、教育芸術社は5年生において、各者とも取り上げている。各者とも、聞いて終わり、歌って終わりではなく、歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞の4つの活動を関連づけて取り上げ、我が国や郷土の音楽のよさや面白さ、親しみを持てるようにしている。また、各者とも写真を多く掲載し、日頃触れることの少ない日本の郷土芸能を視覚的に理解できるように工夫している。

Q / 音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けられるよう指導を工夫することが求められているが、各者、どのような工夫がされているか。

A / 各者とも共通しているが、歌唱では歌って終わり、器楽では演奏して終わり、ではない。例えば歌唱では、共通教材である3年生の「ふじ山」において、教育出版は体を使って、旋律の動きに合わせて高くなったり低くなったりして、この曲の盛り上がりはどこなのか、子どもたちが体で感じながら歌うという工夫がされている。教育芸術社は、視覚的に富士山を見せ、盛り上がりやクライマックスはどこなのか、子どもたちに感じさせながら歌うという工夫がされている。音楽づくりにおいては、各者とも、視点が明確になった音楽づくりがされている。リズムや和音、音階に視点を当てて、子どもたち同士で思いや意図を共有し、試行錯誤しながら取り組めるような内容になっている。

(質疑応答終了)

#### ◆意見交換・採択協議

会長 / 引き続き、音楽の採択の審議に入る。

- 各者とも、歌唱、器楽、鑑賞など、それぞれ学習意欲を高める工夫や、主体的に取り組むことができるなど使用上の配慮がなされているところではあるが、特に教育芸術社については、巻頭の「音楽の木」で1年

間の学習内容が示されており、子どもが見通しを持って学習ができるようになっている。また、巻末に振り返りのページがあったり、各ページに学習のねらいや音楽を形作っていく要素が共通事項に示されており、主体的に児童が学習に取り組めるように工夫されていることから、教育芸術社が良いのではないかと思う。また、子どもたちが郷土芸能を受け継ぎ活躍している写真が掲載されており、児童が実感を持って伝統文化を大切にする気持ちが育つように配慮されていることや、日本の音楽文化に対する配慮があり、全学年に「うたいつごう にほんのうた」として、童謡や唱歌などが精選されて取り上げられていることが、児童の学習意欲が高まるよう工夫されている点も良いと思う。

- 教育芸術社の教科書は1年間の見通しがはっきりしており、教育出版との大きな違いであると思う。学習を深めるために見通しを持つということが、非常に効果的であると思う。各者とも、子どもたちの学習意欲を向上させる仕掛けが随所にみられ甲乙つけがたいが、自分の考えを可視化することが学習内容への理解が深まる手立てと考えており、教育芸術社のほうがワークシート形式が多く取り入れられているため、学習の定着をはかるのに効果的ではないかという観点からも、教育芸術社が良いと思う。

会 長／他の意見はないか。(なし)

これまでの審議の経過を踏まえて、音楽は教育芸術社と決定することとしてよろしいか。(異議なし)

それでは、音楽については、全会一致で教育芸術社の教科用図書を採択することと決定する。

## 【図画工作（図画工作）】

### ◆小委員長報告

委員長／図画工作小委員会委員長の遠軽町立東小学校校長の里見貴史です。

図画工作小委員会は、4名の調査委員で、7月2日に開催された第1回調査委員会以降、「教科書編集趣意書」、道教委発行の「採択参考資料」等を参考資料としながら、観点に従って調査研究を行ってきた。

初めに、開隆堂出版「図画工作」について報告する。

発行者の特徴として、「取扱内容」については、自然物や身近な材料を扱った造形遊び、手や指をスタートに年齢に則して、カッターやのこぎり等の工具を使ったり、光の美しさを活かした飾りをつくったり等の絵や立体、工作の活動から、進んで表そうとする態度を身に付け、作り出す喜びを味わえるような学習活動となっており、各目標が達成できるようになっている。また、鑑賞についても、年齢に則して、身近なものや自然の材料、日本や諸外国の作品のよさを味わったりする活動を通して、面白さや楽しさを感じ取る学習活動となっており、その目標が達成できるようになっている。新たな主体的・対話的で深い学びの実現に



資する学習への対応については、例えば 1・2 学年の「こころのはなをさかせよう」、3・4 学年の「わくわくネイチャーランド」、5・6 学年の「同じもの、たくさん」において、自ら学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、友達と話し合ったり、力を合わせ合ったりしながら活動し、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。「使用上の配慮等」では、身近な北海道を扱ったものとして、各教科書の後半 2 ページを使った「みんなのギャラリー」中、1・2 学年では、美唄市での大学生との交流「アートキャラバン」、3・4 学年では、札幌市内の小学校の活動「白楊アイス・スノーキャンドル」、また、5・6 学年の鑑賞のページでは、旭川市の買い物公園に設置されている、木内禮智氏の「手」が掲載されるなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、日本文教出版「図画工作」について報告する。

発行者の特徴として、「取扱内容」については、自然物や身近な材料を扱った造形遊び、学齢に則して、インクをつけたローラーや、水墨画での筆の使い方、電動のこぎり等の工具や機器の効果・特徴をもとにした、絵や立体、工作の活動から、進んで表そうとする態度を身に付け、つくり出す喜びを味わえるような学習活動となっており、各目標が達成できるようになっている。また、鑑賞についても、身近なものや自然の材料、日本の美術作品に触れるよさや、美しさを味わったりする活動を通して、面白さや楽しさを感じ取る学習活動となっており、その目標が達成できるようになっている。新たな主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば 1・2 学年の「ちょきちょきかざり」、3・4 学年の「ひみつのすみか」、5・6 学年の「光と影のハーモニー」において、自ら学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、友達と話し合ったり、力を合わせ合ったりしながら活動し、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。「使用上の配慮等」では、身近な北海道を扱ったものとして、各教科書の巻頭 3 ページを使った、「教科書・美術館」中、1・2 学年では、北海道出身のアーティスト 203gow 氏の「あみのもりのいきもの」、5・6 学年では、函館博物館蔵の「日ノ浜遺跡出土の動物土偶」、また、3・4 学年では、全国の土を色別に並べた「土のライブラリー2018」に、網走の土が掲載されるなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

以上で、図画工作小委員会の報告を終わる。

#### ◆質疑応答

会 長／図画工作の調査研究報告について質問等はないか。

Q ／工作に表す活動の充実が大切と言われているが、各者、この点について、どのような配慮がなされているか。

- A /各者、まず紙の使用から始まり、次に段ボールや木材など固い材料を使って作品を製作するといった、発達の段階に応じた教材を使う流れになっている。その際には、道具として、まず手でちぎったり丸めたりといった手の機能をスタートに、はさみやカッター、金槌、のこぎり、高学年では電動のこぎりを扱える指導がなされている。
- Q /調査研究報告書の中の観点の一つに「使用上の配慮等」があり、その中で、北海道内の美術や文化に関するものが紹介されたが、広く日本という視野で見たときに、我が国の美術や文化に関する取り扱いについて、各者、どのような配慮がなされているか。
- A /各者、各学年で鑑賞のみならず作品のヒントとして、日本の様々な作品が取り扱われており、例えば、浮世絵、水墨画、屏風絵などがある。また、各者、工芸にも目を向けており、曲げわっぱやふくべ細工など、各地域の工芸についても紹介している。
- Q /第1学年においては、幼児教育との関連が大切と考えるが、各者、この点について、どのような取扱いになっているか。
- A /各者とも、1学年の教科書で幼稚園での取り扱いを扱っている。幼稚園等での取り組みを振り返ったり、小学生と園児と一緒に活動している様子を取り扱うなどの例示を使って、その連続性をはかっている。

(質疑応答終了)

#### ◆意見交換・採択協議

会 長 /引き続き、図画工作の採択の審議に入る。

- 調査研究報告書等を見ても、新学習指導要領のポイントを踏まえた対応や道徳教育への配慮など、各者とも工夫されていると思う。子どもへの感性の問いかけ、具体的にはやってみたいと考えることを仕向ける構成や、多様な題材が提供されていること、何をどのように学ぶかがよりわかるオリエンテーションのページの配置など、学びを広げるよう生活や社会、他教科との学びをつなぐという工夫をしているという点から、日本文教出版が良いのではないかと思う。
- 各者とも工夫されており、調査研究結果からも大きな差はないという印象を受けた。図画工作は、まず興味を引き出すことが大切であり、自分もやってみたい、または想像をかき立て自分なりに作り上げていくということを子どもたちに芽生えさせることが大事と考え、その点では、日本文教出版がより優れていると思う。

会 長／他の意見はないか。(なし)

これまでの審議の経過を踏まえて、図画工作は日本文教出版と決定することとしてよろしいか。(異議なし)

それでは、図画工作については、全会一致で日本文教出版の教科用図書を採択することと決定する。

## 【家庭（家庭）】

### ◆小委員長報告

委員長／家庭小委員会委員長の大空町立東藻琴小学校校長の長谷川純子です。

初めに、東京書籍「新しい家庭」について報告する。

「取扱内容」については、「家族・家庭生活」については、第5学年において自分にできる仕事を見つけたり、団らんを持つ計画を立てたりする活動や、第6学年において生活時間を工夫したり、地域の人々と心のつながりを深めるために工夫できることを考えたりする活動を通して、家庭生活と家族の大切さや、家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付くようになっている。「衣食住の生活」については、第5学年において「ごはんと味噌汁」や「マイ・ミニバッグ」を作る活動や、第6学年において家族が喜ぶ一食分の献立を考えたり「トートバッグ」を製作したりする活動を通して、食生活・衣生活・住生活に関する知識及び技能を身に付けるとともに、それらの課題を解決する力を養うようになっている。「消費生活・環境」については、第5学年において目的に合った選び方や買い方を考えたり、環境や資源に配慮した生活を工夫したりする活動や、第6学年において目的や品質を考えた適切な買い方を考える活動を通して、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、それらの課題を解決する力を養うようになっている。主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、「ひと針に心をこめて」において、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、学習したことをもとに実践して、自分の考えをわかりやすく説明・発表するなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、開隆堂出版「小学校 わたしたちの家庭科」について報告する。

「取扱内容」については、「家族・家庭生活」については、第5学年において自分にできる仕事を見つけたり、家族の一員として仕事の仕方を考えたりする活動や、第6学年において生活時間を工夫したり、地域の人々とのかかわりを見つめ地域の一員としてできることを考えたりする活動を通して、家庭生活と家族の大切さや、家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付くようになっている。「衣食住の生活」については、第5学年において「ごはんと味噌汁」や「カード入れ」を作る活動や、第6学年において栄養のバランスがよい一食分の献立を考えたり「マイバッグ」を製作したりする活動を通して、食生活・衣生活・住生活に関する知識及び技能を身に付けるとともに、それらの課題を解決する力を養うようになっている。「消費生活・環境」については、第5

学年において計画的な買い物の仕方を考えたり、目的に合った物の選び方や買い方を工夫したりする活動や、第6学年において環境に配慮した生活について考える活動を通して、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、それらの課題を解決する力を養うようになっている。主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、「ソーイングはじめの一步」において、学習課題を設定し、見通しをもたせ、生活に生かす方法を実践し、自分の考えをわかりやすく説明・発表するなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

以上で、家庭小委員会の報告を終わる。

#### ◆質疑応答

会長／家庭の調査研究報告について質問等はないか。

- Q ／家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常的に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにすることが求められているが、各者、この点について、どのような取扱いになっているか。
- A ／東京書籍は、知識・技能の定着のため、学習の目標と評価を重視し、すべての小題材のはじめに学習の「めあて」、終わりにそれに呼応した「ふり返ろう」を設けてこまめに学習をふり返り、学習内容が定着するようになっている。また、各実習には「できたかな」の囲みがあり、実習にあたってのポイントが自己評価として活用でき、より確実な技能の定着を図ることができる。さらに、家庭科の基礎の一覧が巻頭に記載されており、いつでも振り返って基礎・基本が復習できるようになっている。また、基礎技能として「いつも確かめよう」コーナーに取り上げられている内容は、実習とセットで取り上げられており、実際の生活場面で活かせるよう配慮されている。さらに、青菜、いも、袋の実習・製作については、大判化した紙面を生かし、横流れの写真や図を使い、手順がわかりやすく示されている。また、巻末には、包丁の使い方や布の縫い方、裁ち方が右利き・左利きとも実物大の写真で掲載されており、児童が自分の手元と見比べて安心して実習・製作ができるよう配慮されている。さらに、デジタルコンテンツの活用が有効な調理や製作に関する内容に「Dマーク」がついており、巻頭のQRコードで、2年間分の動画コンテンツを活用できるよう工夫されている。開隆堂出版は、小題材数が多く、家族や家庭、衣食住、消費や環境について日常生活に必要な基礎的な理解を図り、それらに係る技能をスモールステップで積み上げ、身に付けられるようになっている。特に、5年生最初の調理実習では、湯を沸かしてゆでる調理題材を「加熱する」「青菜をゆでる」「いもをゆでる」「ゆで方の違い」の4つに細分化して構成・排列し、細かなステップを踏んで学習し、早い段階から調理の基礎・基本の定着を図る工夫

がされている。また、知識や技能に関する内容が簡単なものから難しいものへと配置され、学習内容が無理なく習得できるように配慮されている。さらに、基礎的・基本的な知識や技能の理解が深まるよう、実習・製作では、手順図が児童の視線の流れを考慮して横流れになっている。また、調理の手順はすべて写真で示されており、児童が状態を確認しながら作業を進められるように工夫されている。右利き・左利きにも配慮し、両方の針やはさみ、包丁の使い方の写真が、巻末に大きく載っている。さらに、各題材にQRコードがついており、リアルタイムで動画コンテンツを活用して、わかりやすく学習を進めることができる。また、すべての大題材の終わりに「生活に生かそう」コーナーがあり、学んだ基礎・基本の力を生活に生かすことで確実に身に付けられるよう工夫されている。

- Q /生活の中から問題を見出し、課題を設定し、解決方法を検討し、計画、実践、評価、改善するという一連の学習過程を重視することが求められるが、各者、この点について、どのような取扱いになっているか。
- A /東京書籍は、どの題材も3つのステップで学習を進めていく。ステップ1は、「課題発見」、ステップ2は「課題解決・実践活動」、ステップ3は「評価・改善」である。日常生活の課題を見出し、学習の中で他者との交流を図り、課題を解決し、振り返って改善していくような課題解決型の学習の流れになっている。また、生活の課題と実践を「生活を変えるチャンス」として設定し、例えば「わが家のニコエコプランを立てよう 年末そうじ大作戦」など、学んだ知識・技能や育成された思考力・判断力・表現力を活用し、生活の課題を3つのステップを生かして解決していくという内容になっている。開隆堂出版も3つのステップで学習を進めていくが、ステップ1「見つける・気づく」、ステップ2「わかる・できる」、ステップ3「生かす・深める」という、わかりやすい平易な言葉が使われている。この中で、生活を見つめることから問題を見出し、課題を設定し、主体的に様々な解決方法を考えて実践し、実践を評価・改善して考えを発表するなどの主体的・対話的で深い学びを通して課題解決する力を養えるつくりとなっている。また、学習で習得した知識および技能などを実生活で活用するために「レッツトライ 生活の課題と実践」として、例えば「わたしの仕事 スペシャルデイ ～家族のために～」など、課題を設定し、実践的な活動を家庭や地域で行い、課題を解決していくという内容になっている。

(質疑応答終了)

#### ◆意見交換・採択協議

会長／引き続き、家庭の採択の審議に入る。

- 各者とも、それぞれ工夫されていると思うが、開隆堂出版が良いのではないかと思う。具体的なめあて、チェックリストを設定していること、自らの学びや活動をしっかり振り返ることができる工夫がされていること、環境、消費、防災などのマークを使っているコラムの掲載があることなどから、児童の興味・関心が高まるような工夫がされているのではないか。また、ストーリー性のある題材排列となっており、総合的に判断して開隆堂出版が良いと思う。
- 調査委員会からの報告から、各者とも工夫されており、大きな差はないと思うが、主体的に学習に取り組む工夫というのを特に着眼点にして比較したところ、開隆堂出版がより優れているのではないかと思う。各題材が学習のめあてで始まり、最後に「ふりかえろう」「いかそう」が設定され、家庭実践につながるよう工夫されている。また、課題解決の手がかりとなる例示や写真、図表、イラストなどがわかりやすく掲載されていること、チャレンジコーナーを示すことで児童の生活の中から課題が見つけられるように促し、家庭学習につながる工夫もなされている。主体的に学べるよう、対話と学びあいのある体験的な活動が多数設定されていることから、開隆堂出版が良いと思う。

会 長／他の意見はないか。(なし)

これまでの審議の経過を踏まえて、家庭は開隆堂出版と決定することとしてよろしいか。(異議なし)

それでは、家庭については、全会一致で開隆堂出版の教科用図書を採用することと決定する。

## 【体育（保健）】

### ◆小委員長報告

委員長／体育小委員会委員長、津別町立津別小学校校長の山口英世です。

体育小委員会は、4名の調査委員で、7月2日に開催された第1回調査委員会以降、「教科書編集趣意書」、道教委発行の「採択参考資料」等を参考資料としながら、観点に従って調査研究を行ってきた。

初めに、東京書籍「新しい保健」について報告する。

「取扱内容」については、第3・4学年の「健康な生活」において、体を清潔にする理由や健康に過ごすための活動を通して理解し、「体の発育・発達」については、身長の変化や発育の個人差を調べ、生活の中でよりよく発達させることを考える活動を通して理解し、見つけた課題の解決を考え、表現できるようになっている。第5・6学年の「心の健康」及び「けがの予防」については、心と体が影響し合っていることや不安や悩みへの対処について考えたり、けがや事故の原因、場面を考える活動を通して理解し、対処の方法や簡単な手当、危険の予測や回避の方法を思考、判断し、表現できるようになっている。「病気の予防」については、感染症や生活習慣病、喫煙などが健康に及ぼす影響を理解し、

見つけた課題の解決を考え、表現できるようになっている。主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習の対応については、第3・4学年では、「毎日を健康に過ごすにはどのような生活の仕方がよいのか」、第5・6学年においては、「交通事故はどうすれば防止できるのか」という課題を設定し、「調べる・解決する」、「深める・伝える」などが取り扱われています。「使用上の配慮等」については、全学年、資料の掲載やデジタル教材の充実、課題の解決に結びつく視点を吹き出しで示すなど児童の学習意欲を高め、主体的に取り組めるように工夫されている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、大日本図書「たのしい保健」について報告する。

「取扱内容」については、第3・4学年の「健康な生活」において、1日の生活を振り返り、健康な生活の仕方や環境の整え方を活動を通して理解し、「体の発育・発達」については、身長の変化や思春期における体の変化について調べ考える活動を通して理解し、見つけた課題の解決を考え、表現できるようになっている。第5・6学年の「心の健康」及び「けがの予防」については、不安や悩みに関する経験を振り返ったり、予測される危険や安全な行動、けがをしたときの行動を考える活動を通して理解し、対処の方法や簡単な手当、危険の予測や回避の方法を思考、判断し、表現できるようになっている。「病気の予防」については、病気の要因や、喫煙などが健康に及ぼす影響を理解し、見つけた課題の解決を考え、表現できるようになっている。主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習の対応については、第3・4学年では、「毎日を健康に過ごすにはどのような生活の仕方がよいのか」、第5・6学年においては、「犯罪被害から身を守るにはどうすればよいのか」という課題を設定し、「話し合ってみよう」、「活用して深めよう」などが取り扱われている。「使用上の配慮等」については、全学年、単元の学習課題に関連した「学習ゲーム」の掲載やデジタル教材の充実、課題の解決に結びつくヒントを吹き出しで示すなど児童の学習意欲を高め、主体的に取り組めるように工夫されている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、文教社「わたしたちの保健」について報告する。

「取扱内容」については、第3・4学年の「健康な生活」において、健康な生活を送るために大切なことを考え、1日の生活で心がけていることを振り返る活動を通して理解し、「体の発育・発達」については、身長の変化や発育の仕方について調べ考える活動を通して理解し、見つけた課題の解決を考え、表現できるようになっている。第5・6学年の「心の健康」及び「けがの予防」については、不安や悩みに関する経験を振り返ったり、けがの場所や原因、予測される危険や回避の方法を考える活動を通して理解し、対処の方法や簡単な手当、危険の予測や回避の方法を思考、判断し、表現できるようになっている。「病気の予防」については、病気の原因や、喫煙などが健康に及ぼす影響を理解し、見つけた課題の解決を考え、表現できるようになっている。主体的・対話

的で深い学びの実現に資する学習の対応については、第3・4学年では、「健康な生活を送るためには、1日の過ごし方をどうすればよいのか」、第5・6学年においては、「心の健康を保つにはどうすればよいのか」という課題を設定し、「考えてみよう」、「新しい自分にレベルアップ」などが取り扱われている。「使用上の配慮等」については、全学年、資料やホームページのアドレス、豆知識の脚注掲載の他、学習方法を提示し課題の解決に結びつく視点を吹き出しで示すなど児童の学習意欲を高め、主体的に取り組めるように工夫されている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、光文書院「小学保健」について報告する。

「取扱内容」については、第3・4学年の「健康な生活」において、手や衣服などの汚れや身の回りの環境の整え方について調べる活動を通して理解し、「体の発育・発達」については、思春期における男女の体の変化を比べ、よりよく発育させるための生活を考える活動を通して理解し、見つけた課題の解決を考え、表現できるようになっている。第5・6学年の「心の健康」及び「けがの予防」については、経験や事例を基に、心と体の関係や不安や悩みを話し合ったり、けがや事故の原因、危険の予測や安全な行動の仕方について調べる活動を通して理解し、対処の方法や簡単な手当、危険の予測や回避の方法を思考、判断し、表現できるようになっている。「病気の予防」については、感染症や生活習慣病、喫煙などが健康に及ぼす影響を理解し、見つけた課題の解決を考え、表現できるようになっている。主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習の対応については、第3・4学年では、「健康に過ごすためには身の回りの環境をどのように整えればよいのか」、第5・6学年においては、「むしばなどを予防するためにはどうすればよいのか」という課題を設定し、「話し合おう・調べよう」、「学んだことを生かそう・伝えよう」などが取り扱われている。「使用上の配慮等」については、全学年、学習内容をストーリー形式で示したり、ウェブサイト情報や資料の掲載、視点の吹き出し提示など児童の学習意欲を高め、主体的に取り組めるように工夫されている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

最後に、学研教育みらい「みんなの保健」について報告する。

「取扱内容」については、第3・4学年の「健康な生活」において、2人の1日の生活の仕方を比べたり、部屋の環境と健康について調べる活動を通して理解し、「体の発育・発達」については、思春期に起こる体の変化や男女の違い、給食の献立について調べ考える活動を通して理解し、見つけた課題の解決を考え、表現できるようになっている。第5・6学年の「心の健康」及び「けがの予防」については、経験や事例を基に、心と体が密接に関連している事例や経験、不安や悩みへの対処として呼吸法を実習したり、けがや事故など体験の振り返りや防ぐための工夫について調べる活動を通して、対処の方法や簡単な手当、危険の予測や回避の方法を思考、判断し、表現できるようになっている。「病気の予防」



については、病気の予防や喫煙などが健康に及ぼす影響を理解し、見つけた課題の解決を考え、表現できるようになっている。主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習の対応については、第3・4学年では、「部屋の明かりをつけたり、空気を入れ換えたりするのはなぜか」、第5・6学年においては、「不安や悩みを抱えた時は、どうすればよいか」という課題を設定し、「考える・調べる」、「まとめる・深める」などが取り扱われている。「使用上の配慮等」については、全学年、児童がもつ疑問やウェブサイトの掲載、学習の進め方や関連する職業に関わる人や専門家による解説を掲載するなど児童の学習意欲を高め、主体的に取り組めるように工夫されている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

以上で、体育小委員会の報告を終わる。

#### ◆質疑応答

会 長／保健の調査研究報告について質問等はないか。

- Q /新学習指導要領においては、健康に関する基礎的な内容の理解と、健康な生活を送るための資質や能力の育成、心身ともに健康で安全な生活態度の育成など、「心身の健康の保持増進」が強調されているが、このことについて、各者、どのような配慮がなされているか。
- A /各者、第3・4学年においては、自分の生活を振り返って他者と比較したり、体を清潔にする理由や身の回りの環境の整え方などについて調べたり考えたりする活動が取り上げられている。さらに、第5・6学年においては、心と体が影響し合っていることを取り上げ、不安や悩みに関する自分の経験や、病気の原因や予防について考える活動を通して理解し、簡単な対処の仕方などを生活に取り入れ、生かすことで「心身の健康の保持増進」につながる配慮がなされている。
- Q /健康によい生活を続けようとする態度を養うことが大切と考えるが、各者、この点についてどのような配慮がなされているか。
- A /各者、生活習慣病を取り上げ、適切な運動や栄養バランスの良い食事、十分な休養や睡眠に気をつけることの大切さを話し合い、伝え合う学習活動により、健康によい生活を続けようとする理解や態度を養う配慮がなされている。
- Q /新たに設けられた「けがや病気からの回復」について、各者、どのように示されているか。
- A /各者とも、回復を早めるための簡単な手当や適切な対処の方法について、イラストや写真を交えて示されている。

(質疑応答終了)

#### ◆意見交換・採択協議

会 長／引き続き、保健の採択の審議に入る。

- 心と体のつながりや、ネット犯罪被害等の今日の課題を掲載していることや、写真等の配置がわかりやすく掲載されていること、また「学習を振り返ろう」で自分の学んだ理解度を確認できること、ステップ学習が視覚的に見やすく学習の見通しが立てやすいこと、ワークシートの内容が多様で各活動による理解が深まる構成になっていることなど、総合的に学習の進め方がわかりやすく、教材掲載においても配置バランス等が良く、児童の学習意欲や主体的に学習に取り組むことができるようにするなど、使用上の便宜がはかられている東京書籍が良いと思う。
- 現行の東京書籍を引き続き採択するのが良いと思う。子どもたちにとって、学習内容を理解しやすいというのはどういうことか考えたときに、一つ一つ順を追って学習ができることと、見やすいことではないかと思う。その観点から、ステップ学習は、順を追って学習するのに視覚的に見通しが立てやすいものになっている。また、見やすさという観点では、学習内容の理解に役立つコンテンツが非常に豊富で、多彩な排列になっている。さらに、ワークシートも学習意欲の向上につながる構成になっているのではないかとということからも、東京書籍が良いと思う。

会 長／他の意見はないか。(なし)

これまでの審議の経過を踏まえて、保健は東京書籍と決定することとしてよろしいか。(異議なし)

それでは、保健については、全会一致で東京書籍の教科用図書を採択することと決定する。

#### 【外国語（英語）】

##### ◆小委員長報告

委員長／外国語小委員会委員長の湧別町立湧別小学校校長の佐藤大です。

委員会で文部科学省検定済教科書7者について調査研究を行った。報告においては、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと【やり取り】」、「話すこと【発表】」、「書くこと」の5つの領域のうち小学校第5・6学年より学習される「読むこと」、「書くこと」を中心に報告する。

初めに、東京書籍「NEW HORIZON」について報告する。

「読むこと」については、第5学年では、活字で書かれた文字を見て、大文字であるか小文字であるかを識別する活動、第6学年では、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、夢宣伝カードなどの中から識別する活動などを取り上げており、目標を達成できるようにな

っている。「書くこと」については、第5学年では、活字体の大文字、小文字を書く活動、第6学年では、将来の夢などについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。内容の構成については、第5学年では、挨拶、身近なものを英語で言ったり、名刺やバースデーカードを交換したり、第6学年では、自分についてスピーチをしたり、宝物を伝え合ったりするなどの配慮がされている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、開隆堂出版「Junior Sunshine」について報告する。

「読むこと」については、第5学年では、活字体で書かれた文字を見て、大文字であるか小文字であるかを識別する活動、第6学年では、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、夏休みの思い出などの中から識別する活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。「書くこと」については、第5学年では、活字体の大文字、小文字を書く活動、第6学年では、感謝の手紙などについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。内容の構成については、第5学年では、挨拶、身近なものを英語で言ったり、自己紹介をして名刺交換をしたり、クラスの誕生日ポスターを作成したり、第6学年では、アクティビティに挑戦したり、友達との共通点を探したり、自分の一日を紹介したりするなど配慮がされている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、学校図書「JUNIOR TOTAL ENGLISH」について報告する。

「読むこと」については、第5学年では、活字体で書かれた文字を見て、大文字か小文字であるかを識別する活動、第6学年では、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、中学校生活に向けた思いを発表する文などの中から識別する活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。「書くこと」については、第5学年では、活字体の大文字、小文字を書く活動、第6学年では、中学校での希望について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。内容の構成については、第5学年では、挨拶、身近なものを英語で言ったり、好きな教科やスポーツをたずねて自己紹介をすること、第6学年では、アクティビティに挑戦したり、日本の祭りについてたずねたり、夏休みの思い出を伝えたりするなど配慮がされている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、三省堂「CROWN Jr.」について報告する。

「読むこと」については、第5学年では、活字体で書かれた文字を見て、大文字であるか小文字であるかを識別する活動、第6学年では音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、本の表紙などの中から識別する活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっ

ている。「書くこと」については、第5学年では、活字体の大文字、小文字を書く活動、第6学年では、職業などについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。内容の構成については、第5学年では、挨拶、身近なものを英語で言ったり、自己紹介や家族を紹介したり、第6学年では、学校を紹介したり夏休みにしたことを説明するなど配慮がされている。その他の観点における調査研究結果は、報告書に記載のとおり。

次に、教育出版「ONE WORLD Smiles」について報告する。

「読むこと」については、第5学年では、活字体で書かれた文字を見て、大文字であるか小文字であるかを識別する活動、第6学年では、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、中学校でしたいことの文などの中から識別する活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。「書くこと」については、第5学年では、活字体の大文字、小文字を書く活動、第6学年では、将来の夢などについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。内容の構成については、第5学年では、挨拶、身近なものを英語で言ったり、起床時間をたずねたり、第6学年では、自分の町にあるおすすめの場所についてたずね合ったりするなど配慮がされている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

次に、光村図書「Here We Go!」について報告する。

「読むこと」については、第5学年では、活字体で書かれた文字を見て、大文字か小文字であるかを識別する活動、第6学年では、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、中学校でがんばりたいことを発表する文などの中から識別する活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。「書くこと」については、第5学年では、活字体の大文字、小文字を書く活動、第6学年では、職業などについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。内容の構成については、第5学年では、挨拶、身近なものを英語で言ったり、誕生日をたずね合ったり、第6学年では、友達と夏休みの思い出をインタビューし合ったり、自分たちの町を紹介したりするなど配慮がされている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

最後に、啓林館「Blue Sky elementary」について報告する。

「読むこと」については、第5学年では、活字体で書かれた文字を見て、大文字か小文字であるかを識別する活動、第6学年では、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、円グラフなどの中から識別する活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。「書くこと」については、第5学年では、活字体の大文字、小文字を書く活動、第6学年では、中学校での希望を音声で十分に慣れ親しん

だ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動などを取り上げており、目標を達成できるようになっている。内容の構成については、第5学年では、挨拶、身近なものを英語で言ったり、友だちの好きな教科をたずねたり、第6学年では、好きなものを伝えたり、自分が住む都道府県を紹介したりするなど配慮がされている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。

教科書のサイズとしてA4判は、東京書籍、学校図書の2者、AB判は開隆堂出版、三省堂、教育出版、光村図書、啓林館の5者となっている。

すべての出版社において、音声ができるQRコードが掲載されており、辞書機能については、開隆堂のみ巻末にアルファベット順に掲載、その他はカテゴリーごとの絵のついた辞書となっている。

以上で、外国語小委員会の報告を終わる。

#### ◆質疑応答

会長／外国語の調査研究報告について質問等はないか。

Q ／児童が興味・関心をもって学習することができるよう、地域の実態などを活かした指導をすることが求められているが、北海道に関する記述について、各者、どのような取扱いになっているか。

また、日本の伝統文化に関する記述について、各者、どのような取扱いになっているか。

A ／北海道に関する記述については、各者とも、北海道ニセコもしくは札幌雪まつり、ウィンタースポーツなどの写真等の掲載がある。中には、リスニングでそのものを紹介するもの教材の中に入っている。

日本の伝統文化については、大きく日本文化を取り上げている単元はないが、外国の文化や風習などを紹介することが多く、その中で日本文化と対比しながら学べるような配慮が各者ともされている。

Q ／「知識及び技能」を活用しながら、思考、判断、表現し、実際に外国語を用いたコミュニケーション能力を育成するためには、お互いの考えや気持ちを伝えあう言語活動の充実が求められているが、各者、この点について、どのような配慮がなされているか。

A ／各者とも、各単元の最後のほうに、書いたり読んだりする言語活動がふんだんに取り上げられている。先ほどの調査研究報告でも「書くこと」について報告したとおり、アウトプットする活動が単元の中に盛り込まれていたり、発表する活動もアクティビティとして多数取り上げられている。

Q ／単元全体を見直して、言語活動を位置づけることが大切と考えるが、各者、この点について、どのような配慮がなされているか。

- A /各者とも、各単元において「聞くこと」から入り、次に「話すこと」「書くこと」「読むこと」というように、大まかな4技能を活用しながら学べるような単元のつくりになっている。

(質疑応答終了)

◆意見交換・採択協議

会 長／引き続き、外国語の採択の審議に入る。

- 各者とも、学習指導要領の総則及び外国語の各学年の目標を達成できるよう、継続性、発展性を十分考慮した学習活動で構成されていると思うが、中でも開隆堂出版は、児童の学校生活や実態に合うように題材が排列され、児童の興味・関心や生活経験に合った学習を展開することができるよう工夫されている。また、各単元において、単語の習得から表現の習得へと、易しい内容から難しい内容への排列がなされており、無理なく自己表現活動につなげられるよう配慮されているという点から、開隆堂出版が良いのではないかと。
- 小学校では、外国語が教科化になる中での採択となり、各者とも大きな差はないように感じるが、全体的に、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと」の4技能がバランス良く配置されていること、楽しく英語に取り組めて、英語が身に付くよう会話やコミュニケーションが多く取り扱われ、特に「読むこと」「書くこと」が系統的に取り扱われていること、また中学校との連携をはかった学習内容について工夫されていることなどから、開隆堂出版が良いのではないかと。
- 各者とも、力を入れた教科書の構成になっているという印象がある。その中で、自己紹介や名刺の交換をスタートとして、自分のまちの紹介といったふるさと教育の要素が盛り込まれていること、絵や写真を説明したり自分の将来の夢を発表する活動を重視していること、読みやすい書体やわかりやすく落ち着いた配色の配慮がなされていること、6年生の巻末で中学校でつまづきやすい項目を先取りし、中学校での英語学習につなげられるような配慮がされていたことなどから、開隆堂出版が良いのではないかと。
- 教科書の色使いや構成といった観点から比較したところ、特別な支援を要する児童も使用することから、集中して授業に取り組めるという ことを考慮しなければならないと考えるが、開隆堂出版は比較的シンプルな色合いや構成であると思う。他者については色使いが多く、バラエティに富んだ構成となっており工夫されていると思うが、特別な支援を要する児童が使用することを考えると、シンプルな色使いや

構成である開隆堂出版が良いと思う。

会 長／他の意見はないか。(なし)

これまでの審議の経過を踏まえて、外国語は開隆堂出版と決定することとしてよろしいか。(異議なし)

それでは、外国語については、全会一致で開隆堂出版の教科用図書を採択することと決定する。

## 【道徳（道徳）】

### ◆小委員長報告

委員長／道徳小委員会委員長の湧別町立芭露学園校長の澁谷順です。

委員会で文部科学省検定済教科書8者について調査研究を行った。

初めに、東京書籍「新訂 新しい道徳」について報告する。

「取扱内容」について、生命の尊厳においては、例えば、第5学年において、自分や他人の生命について、どのようなことを大切にしているかや生きているからこそ感じることを、できることは何かを考える活動を取り上げている。特にいじめの問題については、知らない人に親切にしている人を見たとき、どのようなことを感じたかを考える活動を取り上げている。内容の排列・構成については、言語活動では、「出会う・ふれ合う」等を配置し、多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう工夫されている。問題解決的な学習では、第3学年以上に、「問題を見つけて考える」を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるように工夫されている。体験的な学習については、各学年に、体験活動との関連を図った教材を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から、道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。全体的な特徴としては、1点目、番号が教材に付いているので、これらの教材を1時間ずつ扱うことで、すべての内容項目を網羅することができ、1時間の道徳の授業を行う際のステップも示されている。2点目、読み物教材をなるべく短くしていたり、目次から問題解決的な学習を重視した構成になっている。3点目、活動型教材を取り入れることで、低学年の子どもを引き込む要素があったり、馴染みのあるキャラクターが登場したりしている。

次に、学校図書「かがやけ みらい 小学校道徳」について報告する。

「取扱内容」について、生命の尊厳においては、例えば、第5学年において、命とはどのようなものかや今を生きていることをどのように感じているかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、相手の気持ちや立場を考えて、思いやりのある行動をするためには、どのようなことが必要かを考える活動を取り上げている。内容の排列・構成については、言語活動では、各学年の別冊に道徳的価値について主体的に取り組むことができる発問「かんがえよう」や「みつめよう」

等のマークを配置し、多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫されている。問題解決的な学習では、主体的に道徳的課題に気づき、焦点化して考える発問を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるように工夫されている。体験的な学習では、役割演技を通して道徳的価値の理解を深める「やってみよう」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から、道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。全体的な特徴としては、1点目、2冊で1つの教科書となっており、「きづく」とそこから「まなぶ」につながっている。また、「まなぶ」方は、書き込みが多く、評価に活かせる別冊となっている。2点目、教科書の右下にQRコードを掲載しICTの活用を意識したり、ワークシートに友だちの考えを記入する欄を確保して、多面的・多角的な思考を重視したものとなっている。3点目、いじめに向き合う心を育てるために、学級経営の理論に基づき、時期を考慮した教材排列となっている。

次に、教育出版「小学道徳 はばたこう明日へ」について報告する。

「取扱内容」について、生命の尊厳においては、例えば、第5学年において、かけがえのない命を未来にどのように伝えていくかや命を輝かせるとは、どのようなことかを考える活動を取り上げている。特にいじめの問題については、友達と関わる時に大切にしたいことは、どのようなことがあるかを考える活動を取り上げている。内容の排列・構成については、言語活動では、「学びの手引」を配置し、多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むよう工夫されている。問題解決的な学習では、各学年に、学習のねらいを明確にする「導入」を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるように工夫されている。体験的な学習については、各学年に、役割演技を通して道徳的価値の理解を深める「やってみよう」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から、道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。全体的な特徴としては、1点目、教材本数は35本、1年生は34本で、本教材の30本で内容項目を押さえることができるようになっていたため、場合によっては学校独自に教材を取り扱うこともできるようになっている。2点目、導入・展開・終末というようにわかりやすい構成と多様な指導法が示されている。3点目、「あなた」を主語とする発問が充実しており、自己の生き方について考えを深める工夫がなされている。

次に、光村図書「道徳 きみが いちばん ひかるとき」について報告する。

「取扱内容」について、生命の尊厳においては、例えば、第5学年において、精一杯生きるとは、どのような生き方をすることかや生きてい



ることの不思議さやすばらしさを、どのようなときに感じるかを話し合う活動を取り上げている。特にいじめの問題については、友達とすれ違いが起きたとき、どのようにすると良いかを考える活動を取り上げている。内容の排列・構成については、言語活動については、「キャラクターによる問いかけ」や多面的・多角的に考えられるよう「考えよう・話し合おう」、学習したことを他教科や日常生活に繋げる「つなげよう」を配置し、多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫されている。問題解決的な学習では、各学年に、「考えよう・話し合おう」を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるように工夫されている。体験的な学習については、各学年に、役割演技を通して道徳的価値の理解を深める「演じて考えよう」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から、道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。全体的な特徴としては、1点目、学校生活や児童の発達段階に合わせた構成となっていること、また、導入に使えるマスコットの言葉が、楽しく学びに向き合えるようになっている。2点目、学びの記録や書き込み欄が多く、振り返りや評価の手立てが取りやすくなっている。3点目、教材では、多面的・多角的に考えるために、複数の観点を取り入れたり、手引きにいくつかの観点を示しており、発問では、多様な考えを引き出すような工夫が見られる。

次に、日本文教出版「小学道徳 生きる力」について報告する。

「取扱内容」について、生命の尊厳においては、例えば、第5学年において、精一杯生きるとはどのような生き方かや命の大切さについて、感じたこと、考えたことはどのようなことかを考える活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、友達との関係で、どのようなことを大切にしているかを考える活動を取り上げている。内容の排列・構成については、言語活動については、各学年の別冊に、ペアトーク、グループトークの学習形態を示唆する「話し合ってみよう」等を配置し、多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力を育むことができるように工夫されています。問題解決的な学習では、「学習の手引き」を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるように工夫されている。体験的な学習については、各学年に、役割演技や動作化の写真を提示した「学習の手引き」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から、道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。全体的な特徴としては、1点目、1時間の中での学びの流れが見えるように工夫されていること、また、「どうとくノート」が別冊であり、書く活動を通して自他の考えを確かめ、話し合いを促すなど、学びを確かなものに繋げられるよう工夫されている。2点目、教材の最後に、必ず「考えてみよう」「見つめよう 生かそう」という発問例が掲載されて

いたり、いくつかの教材には「学習の手引き」欄が設けられ、ロールプレイや話し合い方が示されている。3点目、教材数では、35時間+3時間で学校独自の編成の入れ替えができるようになっている。

次に、光文書院「小学道徳 ゆたかな心」について報告する。

「取扱内容」について、生命の尊厳においては、第5学年において、自分の命が支えられていると感じるのはどのようなときかや、よりよく生きるということはどのようなことを考える活動を取り上げている。特にいじめの問題については、自分の短所を改め、長所を伸ばしていくためには、どうすると良いかを考える活動を取り上げている。内容の排列・構成においては、言語活動では、「ことばのたからもの」を配置し、多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫されている。問題解決的な学習では、「キャラクターの問いかけ」を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるように工夫されている。体験的な学習については、「みんなでやってみよう！」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から、道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。全体的な特徴としては、1点目、キャラクターが考えるポイントや、大切な見方を投げかけたりしており、冒頭には、学習課題として扱えるリード文が配置されている。また、学習の見通しを持てるよう工夫されていたり、「学びの足あと」が巻末にあり、毎時間の振り返りや、学期・学年末のまとめに活用できるようになっている。2点目、教材が35時間+5時間という構成で、中での入れ替えが可能となっている。3点目、発問が下の欄にあったり、書き込みが比較的多く存在しており、ワークシートと教科書とを兼ねるような形になっている。また、読み物教材は短くまとめられている。

次に、学研教育みらい「新・みんなの道徳」について報告する。

「取扱内容」について、生命の尊厳においては、例えば、第5学年において、これまでに命の大切さを感じたことはどのようなことがあるかや、命の重さについて実感したことは、どのようなことがあるかを考える活動を取り入れている。特に、いじめの問題については、いじめられている人を見かけたとき、どうしたいと思うかを考える活動を取り上げている。内容の排列・構成については、言語活動では、「学び方のページ」や思いや考えを可視化する書き込み欄を配置し、多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう工夫されている。問題解決的な学習では、「学び方のページ（深めよう）」を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるように工夫されている。体験的な学習では、「学び方のページ（やってみよう）」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から、道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。全体的な特徴としては、1点目、教科

書が大判であり、教材の冒頭に主題名は記載せず、特定の価値を子どもに押しつけないよう配慮されている。2点目、全学年に共通したキャラクターが登場するとともに、1年間を通した学びの全体像をつかみやすいよう工夫されている。3点目、書き込み欄が所々に存在しており、主体的な学びにつながるようになっている。教材としては、「世界」「命」の学習が、複数教材をひとまとまりとして捉えられるように配置されている。

最後に、廣済堂あかつき「小学生の道徳」について報告する。

「取扱内容」について、生命の尊厳においては、例えば、第5学年において、なぜ、命はかけがえのないものなのかや命を大切に生きていくということは、どのようなことかを話し合う活動を取り上げている。特に、いじめの問題については、いじめを許さない、見過ごさないために、自分はどのような心を育てたいかを考える活動を取り上げている。内容の排列・構成においては、言語活動については、「考えよう・話し合おう」や別冊に、話し合い活動の記録ページを配置し、多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫されている。問題解決的な学習では、第3学年以上に、児童が学習の見通しをもって問題追求への意欲を高める「学習の道すじ」を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるように工夫されている。体験的な学習については、体験を想起させたり、役割演技を促したりする問いや活動を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から、道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。その他の観点における調査研究結果は報告書に記載のとおり。全体的な特徴としては、1点目、本冊では、みんなで考え、話し合うようにし、別冊のノートでは、自分を見つめ、考えるように構成されている。そこでは、自分を振り返ったり、評価の際の手がかりになるようになっている。2点目、重点項目に関する教材の一部は、2時間連続で配置し、重点ユニットとなっている。特に「命の教育」では、特別にページを設けている。3点目、「自己の生き方」に特化したワークシートとなっており、学習の手引きの中の発問も、「あなた」を主語した形になっている。

以上で、道徳小委員会の報告を終わる。

#### ◆質疑応答

会 長／道徳の調査研究報告について質問等はないか。

Q ／道徳の教科化に至った要因の一つとしていじめの問題があげられるが、いじめを扱った教材は、各者、どのような工夫がされているか。

また、子どもたちの間にもスマートフォンの普及が広がってきているが、情報モラルについて、どのような内容を扱った教材が作られているのか。

A /いじめを扱った教材は、各者様々あるが、その多くが SNS に関わって何気ない言動が誤解を生み、いじめにつながるといった内容の教材を意識的に取り上げている。また、第三者的な立場でいることもいじめに加担していると理解させるために、傍観している立場の人の気持ちや取るべき行動について考えさせる発問を意識的に取り入れている。

情報モラルについても、いじめと似通った内容で、SNS に関わって何気ない言動が誤解を生み、いじめにつながるといった内容の教材を意識的に取り上げている。

Q /各者、偉人を扱っている教材があるが道徳の教材としてどのような工夫がされているのか。

また、子どもたちの多様な考えを引き出す工夫、「考え・議論する道徳」になるよう、各者、どのような工夫がされているか。

A /偉人を扱っている教材については、困難や挫折を乗り越え、成功を掴み取る内容が多くなっている。また、困難や挫折を乗り越えるにあたって、あきらめず自分を貫くだけでなく、自らを反省し生き方を変えたり、他者の意見を取り入れたり、様々な乗り越え方を意図的に扱って児童が困難に出会ったときどうすればよいのか、多様な考え方を学ばせるよう工夫されている。

また、多様な考えを引き出す「考え・議論する道徳」については、児童の多様な考えを引き出せる発問を工夫するとともに、賛成か反対か判断を迫る発問や役割演技などを積極的に取り入れて、児童が豊かな言語表現で自分の考えを表し話せるような発問や場作りについて各者工夫している。

Q /道徳については、教科書を使用してまだ2年だが、2年前の採択時から大きく変わった点はあるか。

A /大きく変わった点はないが、ページ数が増えた教科書会社が4者、減った教科書会社は2者ある。増えたもので、最大でも13%、平均では約6%になっている。減ったものでは、最大で10%、平均で約6%、それ以外の教科書会社はページ数に変わりはない。

(質疑応答終了)

#### ◆意見交換・採択協議

会 長 /引き続き、道徳の採択の審議に入る。

- 道徳については、8者で数も多く、内容も多岐にわたるが、相対的にみて大差はないように思う。その中で、問題解決的な学習について、各学年に「考えよう・話し合おう」を配置して、自分との関わりで道

徳的な価値をとらえ、自分なりに発展させていくという課題が培われるように工夫されていること、また、体験的な学習についても、「演じて考えよう」を配置し、体験的行動や活動を通じて学んだ内容から、道徳的価値の意義などについて考え深めるよう工夫されているという点について、光村図書が優れていると思う。また、道徳はまだ2年弱の使用であり、調査研究報告でも、各者大きな変更点はないとのことなので、引き続き光村図書を採択するという点で良いのではないかなと思う。

- 現在使用している光村図書が良いと思う。特に、使用上の配慮等についての工夫について、自らを振り返る工夫などについては、各学年に学習のまとまりの区切りに道徳で学んだことを記録する「学びの記録」を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標を持ったりすることができるように工夫されている。また、家庭や地域との連携を深める工夫についても、各学年に長期休業中の自主的な学びや、家庭での話し合いにつなげる「夏休みの前に」「冬休みの前に」などを配置し、家庭や地域との共通理解を深めることができるような工夫もされている。さらに、使用開始からまだ2年弱であることと、これまでの使用実績で特に支障があるということでもないため、引き続き光村図書を採択すべきではないか。

会 長／他の意見はないか。(なし)

これまでの審議の経過を踏まえて、道徳は光村図書と決定することとしてよろしいか。(異議なし)

それでは、道徳については、全会一致で光村図書の教科用図書を採択することと決定する。

## 【特別支援（特別支援）】

### ◆小委員長報告

委員長／特別支援小委員会委員長の紋別市立紋別小学校校長の石塚洋司です。

特別支援小委員会は3名の調査委員で、7月2日に開催された第1回調査委員会以降、道教委発行の「採択参考資料」等を参考資料としながら、各観点に従って調査研究を行った。特別支援については、10冊の一般図書について報告する。

初めに、リーブル「しりとりしましょ！ たべものあいうえお」について報告する。

子どもになじみ深い食べ物や飲み物のイラストのしりとりを通して、言葉の響きやリズムに親しみ、文字に親しめるよう構成されている。楽しみながら食べ物の名前を学ぶことができるよう工夫されている。

次に、偕成社「おれたち、ともだち！」絵本「ともだちや」について報告する。

きつねと森の動物たちとのかかわりを通して、情景や場面の様子、心

情などが想像できるよう構成されている。起承転結がわかりやすく、子どもが楽しみながら読み進めることができるよう配慮されている。また、挿絵の色彩が鮮やかで、興味・関心を高めるよう工夫されている。

次に、合同出版「絵でわかるこどものせいかつずかん 3 おでかけのきほん」について報告する。

基本的な生活習慣を学ぶことにより、身の回りの生活に対する関心が高まるよう構成されている。見開きページに、外出時の場面がイラストと平仮名で書かれており、子どもがイメージしやすいよう工夫されている。

次に、旺文社「学校では教えてくれない大切なこと (2) 友だち関係～自分と仲良く～」について報告する。

自分と身近な人々とのかかわりや、友達と仲良くすることの意味が生活経験をもとに理解できるよう構成されている。子どもが身近に感じられる登場人物やストーリーがマンガで描かれており、興味・関心を引くよう工夫されている。

次に、旺文社「学校では教えてくれない大切なこと (6) 友だち関係～気持ちの伝え方～」について報告する。

身近な人々とのかかわりと気持ちの伝え方について理解し、表現できるよう構成されている。子どもが身近に感じられる登場人物やストーリーがマンガで描かれており、興味・関心を引くよう工夫されている。

次に、婦人之友「よくみるよくきくよくする絵本 (9) たべものとかからだ」について報告する。

人の消化器に関する説明を通して、動物の活動や成長に関する学習ができるよう構成されている。人の体の仕組みや生活習慣を、身近な動物と比較するなど、興味や関心をもって学習することができるよう配慮されている。

次に、ポプラ社「おととあそぼうシリーズ (31) おてほんのうたがながれる てあそびうたえほん」について報告する。

手遊び歌を聴きながら音楽に楽しく関わり、豊かな情操を培うよう構成されている。曲の選定や歌とカラオケを切り替えるボタンがわかりやすいアイコンで示され、操作しやすいよう工夫されている。

次に、金の星社「おてつだいの絵本」について報告する。

場面別に「おてつだい」の例が示され、生活に必要な基本的な技能に気付くように構成されている。具体的な手立てやマナーがイラストや文で説明され、様々な生活年齢の子どもが見通しをもって理解できるよう工夫されている。

次に、開隆堂出版「職業・家庭 たのしい家庭科 わたしのくらしに生かす」について報告する。

衣食住に関する問いについて考えることを通して、家族や自分の役割等について理解できるよう構成されている。ルビ付きで読みやすい文章による解説を基本に、写真やイラストなども活用して子どもにわかりやすいよう工夫されている。

最後に、東洋館出版社「くらしに役立つ 家庭」について報告する。  
「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」の内容を系統的に学習できるよう構成されている。各章には、学んだことを振り返る問いが掲載されており、文章による解説を基本に、写真やイラストを活用して子どもにわかりやすいよう工夫されている。

以上で、特別支援小委員会の報告を終わる。

#### ◆質疑応答

会 長／特別支援の調査研究報告について質問等はないか。

Q ／特別な支援または配慮が必要な子どもたちが使用する教科書については、障害の状態に応じて各教科の内容を取り扱うことが大切であると考えるが、一般図書の場合は、この点についてどのような配慮がなされているか。

A ／一般図書は、障害の状態に応じて担任が適切な図書を選択していくことになる。その際、系統的に編集されていること、教科の目標に沿う内容をもつ図書であることや、上学年で使用することとなる教科書との関連性を考慮して選択する必要がある。今回、調査研究を行った10冊の図書の他にも、一般図書は多くの図書が選定されているため、各教科の取り扱う内容に応じて幅広い選択肢の中から選ぶことができるように配慮されている。

Q ／子どもの興味・関心を持たせ、学習意欲を高める工夫が大切であると考えるが、一般図書の場合は、この点についてどのような配慮がなされているか。

また、どのような実態の児童が、この一般図書を使用することになるのか。

A ／学習意欲を高める工夫については、例えば、アイコンを触ることで音楽が流れる図書や、文字が少なく絵が中心の図書、大切な項目を簡潔にまとめ枠で囲ってある図書など、障害の状態に応じて対応できる様々な工夫が見られる。また、シリーズとして系統的に作られているものもあり、次の本も読んでみたくなるような工夫も見られる。障害の状態や子どもの興味・関心に応じて学習意欲を高められるよう、配慮がなされている。

どのような実態の児童が一般図書を使用するかについては、小学校及び中学校の特別支援学級で、特別の教育課程を編成し、教科により当該学年用の文部科学省検定済教科書を使用することが適当でない場合に、下学年用の教科書、文部科学省著作教科書、一般図書の3種類の中から、児童・生徒の障害の種類・程度、能力・特性に応じて選択し使用することになる。

(質疑応答終了)

◆意見交換・採択協議

会 長／引き続き、特別支援の採択の審議に入る。

- いずれの図書についても、学習のために障害の程度に応じた様々な配慮がされており、写真やイラストを使ったもの、ルビ付きの文章のもの、マンガによって子どもたちの興味・関心をひきつけるなど、イメージしやすい内容になっていると思う。いずれの図書も有効に活用されることが期待できると考えられるため、すべての図書を採択すべきと考える。
- 内訳として、国語 2、社会 3、理科 1、音楽 1、家庭 3 の計 10 冊であるが、いずれの図書も各障害に配慮された取扱内容となっているため、すべての図書を採択すべきと考える。

会 長／他の意見はないか。(なし)

これまでの審議の経過を踏まえて、特別支援は全種を採択することと決定してよろしいか。(異議なし)

それでは、特別支援については、全会一致ですべての一般図書を採択することと決定する。

◆確認

会 長／以上で全教科、採択の審議が終了したが、確認のため再度採択結果を読み上げる。

国語は光村図書、  
書写は光村図書、  
社会は教育出版、  
地図は帝国書院、  
算数は教育出版  
理科は東京書籍、  
生活は教育出版、  
音楽は教育芸術社、  
図画工作は日本文教出版、  
家庭は開隆堂出版、  
保健は東京書籍、  
英語は開隆堂出版、  
道徳は光村図書、  
特別支援については不採択が無いため、全種採択となった。

以上で、令和 2 年度から使用する第 9 地区教科用図書の採択を終了す



る。

事務局／以上で本日の協議会を終了する。

午後 3 時 30 分 閉会

---